

わたしのまちは大丈夫？

財政指標って何？

県内市町村の財政状況をわかりやすく説明します。

あなたのまちの 財政状況

平成24(2012)年度決算



©NARA pref.
第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～
平成26年11月18日(日)
奈良県吉野郡大淀町・川上村にて開催



奈良県地域振興部市町村振興課

平成26年3月

目次

はじめに — 「財政」という言葉をご存じですか？	1
1. 市町村財政のしくみは？	2
2. 収支(資金繰り)の健全度を測るポイントは？	4
2-1. 夫婦の給料で生活費がまかなえているか(経常収支比率)	5
2-2. 家計が赤字になっていないか(実質赤字比率) (連結実質赤字比率)	20
3. 借入れや保証の健全度を測るポイントは？	25
3-1. 毎年のローン返済が重すぎないか(実質公債費比率)	26
3-2. ローン残高や保証額は大きすぎないか(将来負担比率)	34
4. 市町村税収の状況は？	42
5. 財政状況が悪い市町村はどうなるの？	46

はじめに — 「財政」という言葉をご存じですか？

市町村では、税金や借入金(地方債)等で資金を調達(歳入)し、その資金を住民の福祉や教育などのサービス、道路などの整備や地元産業の振興のために配分(歳出)していますが、この資金を調達し、配分する活動を広く「財政」と呼んでいます。

お住まいの市町村で公表されている「財政状況」をみれば、どのように資金を集めて、どのように使ったか、また借入金の残高はどれくらいあるかなど、その年の「経営成績」を知ることができます。

皆さんの生活の中のいろいろな行政サービス



小・中学校の管理



道路の建設・
維持管理



保育サービス



福祉サービス



家庭ゴミの収集

財政状況を読みとくポイントは？

①身近な視点で考える…「家計」との比較

市町村の「財政」を、皆さんにとってもっと身近な視点で考え、理解していただくために、ここでは「財政」を「家計」にたとえていますので、家計の視点でやりくりがうまいかどうかをみてください。

②「成績表」を比較する…過去の成績や他の市町村との比較

お住まいの市町村の「財政状況」は、その年のいわば「成績表」ですから、過去の財政状況や他の市町村の財政状況と比べることが肝心です。ここでは、県内市町村の財政状況を比較しやすいように、重要なポイントを比率で表した「財政指標」を中心に説明していきます。

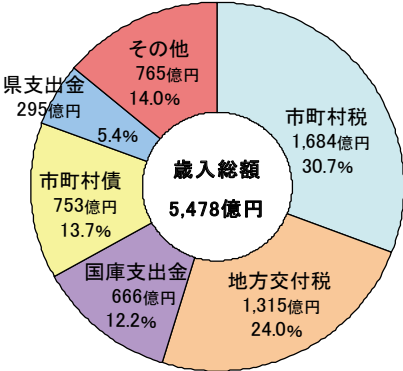
1. 市町村財政のしくみは？

一年間の収入・支出(歳入・歳出)について

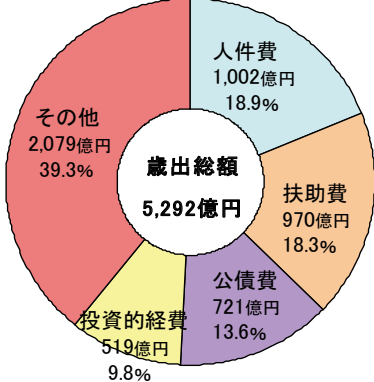
下のグラフは、平成24年度の県内39市町村の普通会計決算を合計したものです。

皆さんに納めていただく市町村税は、歳入の3割以上を占めており、貴重な財源となっています。歳出は、割合の大きい順に人件費、扶助費、公債費となっています。扶助費は生活保護や子ども、高齢者、障害者等を援助する経費をいい、近年は増加傾向にあります。公債費は過去に国や銀行等から借り入れたお金の返済のことをいいます。

収入(歳入)



支出(歳出)



市町村財政(歳入・歳出)を家計(収入・支出)にたとえると次のように考えることができます。

家計にたとえると		市町村財政(普通会計)		
収入	給与	給与 ボーナス 手当(扶養・住宅)	市町村税 地方譲与税、各種交付金 普通交付税 特別交付税	歳入
	災害見舞金(支援金)	災害見舞金(支援金)	地方交付税	
	貯蓄の取り崩し	貯蓄の取り崩し	繰入金	
	その他臨時収入	その他臨時収入	国・県支出金、使用料、手数料、諸収入等	
	去年から繰り越したお金	去年から繰り越したお金	繰越金	
	新たな借金	新たな借金	市町村債	
	支出	食費 最低限の生活費 親や子どもへの生活費の仕送り等 ローンの返済	人件費 扶助費、物件費、維持修繕費 補助費等、繰出金 公債費	
家の購入、車の購入	家の購入、車の購入	普通建設 投資的経費		
自然災害による修繕	自然災害による修繕	災害復旧事業費		
貯蓄の積立て	貯蓄の積立て	積立金		
株式投資等	株式投資等	投資・出資金、貸付金		
去年の支払に回したお金	去年の支払に回したお金	前年度繰上充用金		

市町村の会計について

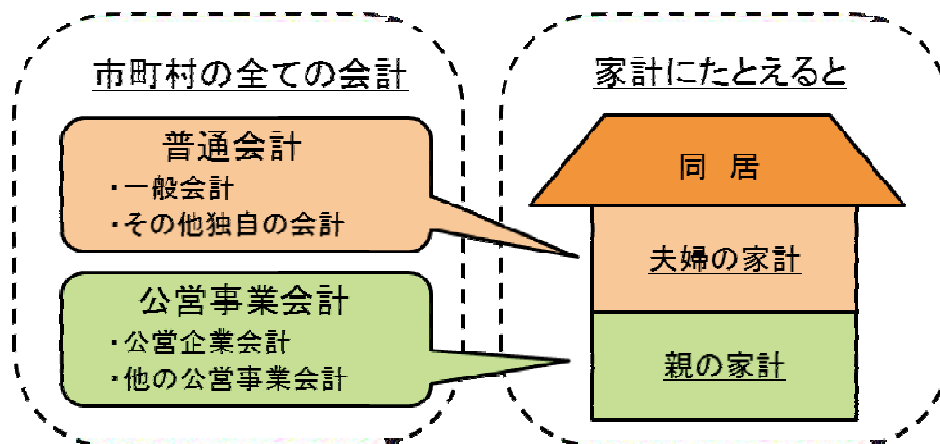
市町村では、福祉、教育、土木、上下水道、病院、国民健康保険、介護保険など様々な行政サービスを行うための経費を大きく2つの会計に分けて管理しています。

2ページのグラフは「普通会計」と呼ばれる会計の決算で、福祉、教育、土木、衛生など、市町村の基本的な施策を行う会計である「一般会計」と、特定の事業を行う場合に、条例により一般会計と区分して経理する「特別会計」から成ります。

また、上下水道、病院のように採算性のある事業や、国民健康保険事業などに適用される「公営事業会計」と呼ばれる会計があります。

市町村の会計を、家計にたとえると次のように考えることができます。

地方財政		家計にたとえると	
普通会計	一般会計 特別会計(普通会計に属するもの) 例:〇〇貸付金特別会計 用地先行取得特別会計	夫婦の家計	同居
公営事業会計	公営企業会計 (水道、下水道、交通、病院など) 収益事業会計 (競馬、競輪など) 国民健康保険事業会計 介護保険事業会計 後期高齢者医療事業会計 その他	親の家計	



2. 収支(資金繰り)の健全度を測るポイントは？

家計と同じく、市町村財政でも健全度を測るためには、収支(資金繰り)と借入れに注目することが重要です。まず、収支(資金繰り)では、①給料(経常的収入)で生活費(経常的支出)がまかなえているか、②会計が赤字になっているかが重要です。

そこで、財政規模や会計制度が市町村ごとに異なりますので、基本的収入である夫婦の給料(経常的収入)を基準にした「財政指標」で表すことで、比較がしやすくなります。

収支の健全度を測るポイント！

市町村の各会計の決算額をみてもわかりづらい要因は…

- ・財政規模の大小(例:奈良市と野迫川村)
- ・会計区分のバラツキ(例:市町村独自の特別会計)
- ・地域のニーズに応じた支出の重点化(例:福祉・道路・教育等)

そこで

財政指標①(経常収支比率)、②(実質赤字比率・連結実質赤字比率)を活用

- ・財政規模や支出のバラツキがなくなる
- ・全市町村の会計区分が統一される

①給料で生活費がまかなえているか

経常収支比率(夫婦)

P5~19へ

②赤字になっていないか

実質赤字比率(夫婦)

連結実質赤字比率(夫婦と親)

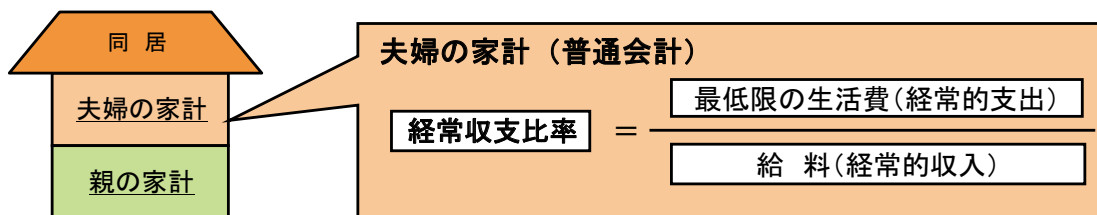
P20~24へ

各財政指標の健全度を健康状態であらわすと

財政指標	健全 ←————→ 破たん			
健康状態	健康 自己管理	要治療	重症 入院治療	重篤 緊急集中治療
経常収支比率	90.7%	100.0%		
実質赤字比率	0.0%	11.25%~15.00%	20.00%	
連結実質赤字比率	0.0%	16.25%~20.00%	30.00%	

2-1. 夫婦の給料で生活費がまかなえているか(経常収支比率)

夫婦の家計(普通会計)が給料(経常的収入)で最低限の生活費(経常的支出)をまかなえているかをみるための財政指標が「経常収支比率」です。この比率が100%を超えると臨時収入や貯蓄の取り崩しが必要な状況であることがわかります。



家計にたとえると		市町村財政(普通会計)	
収入	給料	給与	市町村税
		ボーナス	地方譲与税、各種交付金
		手当(扶養・住宅)	普通交付税
			特別交付税
			地方交付税
			繰入金
			国・県支出金、使用料、手数料、諸収入等
支出	最低限の生活費	食費	人件費
		医療費、光熱水費、修繕費等	扶助費、物件費、維持修繕費
		親や子どもへの生活費の仕送り等	補助費等、繰出金
		ローンの返済	公債費
		家の購入、車の購入	普通建設
		自然災害による修繕	災害復旧事業費
		貯蓄の積立て	積立金
	株式投資等	投資・出資金、貸付金	
	去年の支払に回したお金	前年度繰上充用金	

経常収支比率が100%を超えると重症です

指数100%

健康 ←	→ 重症
指標が100を下回るほど	指標が100を上回るほど
生活にゆとりがある (行政サービスが充実)	生活を切りつめる (行政サービスが縮小)
車等の購入がしやすい (普通建設の拡充)	車等の購入を見送る (普通建設の縮小)
貯蓄がしやすい 無理な借入れをしなくてもよい (基金残高の増、借入残高の減)	貯蓄を取り崩す 借入れをする必要が生じる (基金残高の減、借入残高の増)

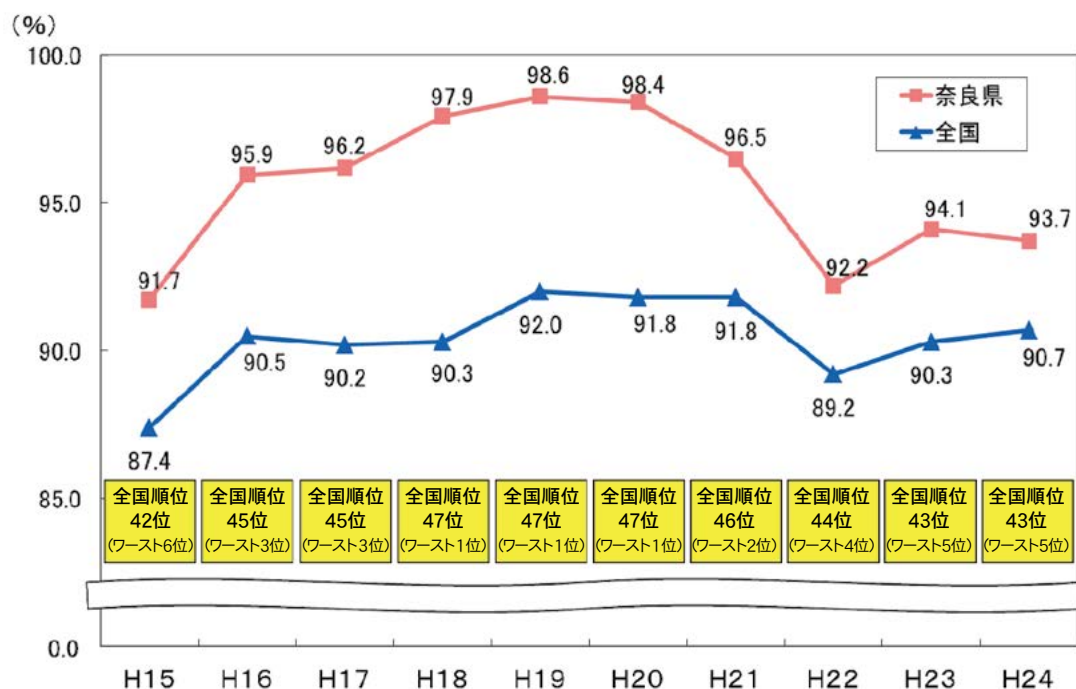
県内市町村の経常収支比率の状況

県内市町村平均 93.7% (全国平均90.7%)

- ・全国ワースト5位(前年度と同順位)
- ・対前年度比 0.4ポイント改善(全国平均は0.4ポイント悪化)

経常収支比率の県内市町村平均(加重平均)は、平成18～20年度決算では3年連続全国ワースト1位となりました。しかし、平成21年度決算では4年ぶりに全国ワースト1位から脱却、平成22年度決算では7年ぶりに全国ワースト3から脱却しました。平成24年度決算では前年度と同順位の全国ワースト5位となり、対前年度比で0.4ポイント改善しています。

全国平均との差は縮小したものの、依然として全国平均を上回っていることから、県内市町村ではより一層の行財政改革に取り組んでいます。



各都道府県の経常収支比率(市町村平均)のワースト順位

前年度より0.4ポイント改善し、県内市町村平均は93.7%です。全国順位はワースト5位で、前年度と順位の変動はありません。

(単位：%、位)

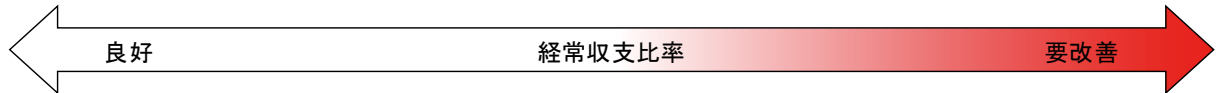
順位	H20年度	順位	H21年度	順位	H22年度	順位	H23年度	順位	H24年度	H24-H23 比率の増減
1	奈良県 98.4	1	大阪府 98.5	1	大阪府 96.4	1	大阪府 97.0	1	大阪府 97.7	+ 0.7
2	大阪府 97.7	2	奈良県 96.5	2	京都府 94.5	2	宮城県 95.8	2	京都府 96.5	+ 1.2
3	京都府 95.7	3	神奈川県 95.0	3	神奈川県 94.4	3	京都府 95.3	3	神奈川県 95.5	+ 1.0
4	群馬県 95.3	4	福岡県 94.8	4	奈良県 92.2	4	神奈川県 94.5	4	広島県 93.8	+ 0.3
4	福岡県 95.3	5	京都府 94.5	5	広島県 91.9	5	奈良県 94.1	5	奈良県 93.7	△ 0.4
6	兵庫県 94.9	5	兵庫県 94.5	5	福岡県 91.9	6	広島県 93.5	6	宮城県 93.0	△ 2.8
7	大分県 94.4	5	広島県 94.5	7	兵庫県 91.8	7	兵庫県 92.4	7	和歌山県 92.9	+ 1.8
8	和歌山県 94.3	8	群馬県 94.2	8	東京都 90.8	8	山口県 91.4	8	福岡県 92.2	+ 1.0
8	山口県 94.3	9	山口県 94.0	9	宮城県 90.6	9	福岡県 91.2	9	千葉県 91.9	+ 0.9
10	広島県 93.8	10	和歌山県 93.5	10	千葉県 90.5	10	和歌山県 91.1	10	東京都 91.6	+ 0.8
11	宮城県 93.7	11	宮城県 93.2	11	愛知県 90.2	11	千葉県 91.0	10	山口県 91.6	+ 0.2
12	鹿児島県 93.5	12	千葉県 92.4	12	山口県 90.0	12	東京都 90.8	12	愛知県 91.2	+ 0.4
13	神奈川県 93.1	12	石川県 92.4	13	石川県 89.9	12	愛知県 90.8	13	福井県 91.1	+ 1.5
14	佐賀県 92.7	14	大分県 92.2	14	大分県 89.4	14	大分県 90.6	13	大分県 91.1	+ 0.5
15	石川県 92.6	15	青森県 91.4	15	和歌山県 89.1	15	石川県 90.0	15	石川県 90.9	+ 0.9
16	熊本県 92.3	16	鹿児島県 91.3	16	栃木県 89.0	16	青森県 89.8	15	兵庫県 90.9	△ 1.5
17	秋田県 92.2	17	北海道 91.2	17	群馬県 88.4	16	島根県 89.8	17	群馬県 90.7	+ 1.0
17	岡山県 92.2	17	東京都 91.2	18	島根県 88.1	18	群馬県 89.7	18	埼玉県 90.2	+ 0.5
17	長崎県 92.2	19	山形県 91.1	19	埼玉県 87.8	18	埼玉県 89.7	19	栃木県 90.1	+ 1.3
20	北海道 92.1	20	宮崎県 91.0	20	青森県 87.7	20	福井県 89.6	20	島根県 90.0	+ 0.2
20	山形県 92.1	21	島根県 90.9	21	北海道 87.5	21	北海道 88.9	21	新潟県 89.8	+ 1.1
20	高知県 92.1	22	滋賀県 90.8	21	秋田県 87.5	21	鹿児島県 88.9	21	宮崎県 89.8	+ 1.8
20	宮崎県 92.1	22	長崎県 90.8	21	長崎県 87.5	23	栃木県 88.8	23	青森県 89.7	△ 0.1
24	青森県 92.0	22	熊本県 90.8	24	新潟県 87.4	23	長崎県 88.8	23	高知県 89.7	+ 1.6
25	千葉県 91.7	25	高知県 90.5	24	福井県 87.4	25	新潟県 88.7	25	三重県 89.6	+ 1.7
25	東京都 91.7	25	佐賀県 90.5	24	佐賀県 87.4	26	秋田県 88.6	26	長崎県 89.5	+ 0.7
27	島根県 91.6	27	埼玉県 90.3	24	宮崎県 87.4	27	山形県 88.5	26	鹿児島県 89.5	+ 0.6
28	福井県 90.7	27	埼玉県 90.3	28	山形県 87.1	28	熊本県 88.3	28	佐賀県 89.3	+ 1.4
29	徳島県 90.6	27	愛知県 90.3	29	三重県 86.9	29	高知県 88.1	29	山形県 88.5	+ 0.0
30	茨城県 90.2	30	岡山県 90.2	29	熊本県 86.9	30	宮崎県 88.0	29	岡山県 88.5	+ 0.9
30	滋賀県 90.2	31	秋田県 90.1	31	茨城県 86.8	31	三重県 87.9	31	熊本県 88.4	+ 0.1
32	岩手県 89.8	32	徳島県 89.9	31	高知県 86.8	31	佐賀県 87.9	32	北海道 88.2	△ 0.7
32	新潟県 89.8	33	栃木県 89.7	33	鹿児島県 86.7	33	岩手県 87.6	33	秋田県 88.1	△ 0.5
34	埼玉県 89.6	34	茨城県 89.5	34	岡山県 86.5	33	福島県 87.6	34	茨城県 88.0	+ 0.7
35	鳥取県 89.4	35	新潟県 89.4	35	滋賀県 85.8	33	岡山県 87.6	34	滋賀県 88.0	+ 1.6
36	沖縄県 89.0	36	鳥取県 89.0	36	鳥取県 85.5	36	徳島県 87.5	36	愛媛県 87.8	+ 1.6
37	富山県 88.9	37	岩手県 88.6	37	富山県 84.7	37	鳥取県 87.4	37	鳥取県 87.7	+ 0.3
38	三重県 88.7	37	三重県 88.6	37	徳島県 84.7	38	茨城県 87.3	38	沖縄県 87.6	+ 2.2
38	愛媛県 88.7	39	愛媛県 88.4	37	香川県 84.7	39	滋賀県 86.4	39	徳島県 87.4	△ 0.1
40	香川県 88.5	39	沖縄県 88.4	40	沖縄県 84.5	40	愛媛県 86.2	40	富山県 87.0	+ 1.2
41	福島県 88.4	41	福島県 87.7	41	愛媛県 84.4	41	富山県 85.8	41	岩手県 86.8	△ 0.8
41	栃木県 88.4	42	富山県 87.5	42	静岡県 84.3	42	静岡県 85.7	41	静岡県 86.8	+ 1.1
43	岐阜県 87.9	43	岐阜県 87.3	43	岩手県 84.0	43	岐阜県 85.5	43	香川県 85.7	+ 0.2
44	長野県 87.6	44	香川県 87.1	43	岐阜県 84.0	43	香川県 85.5	44	岐阜県 85.4	△ 0.1
45	愛知県 86.0	45	長野県 86.6	45	福島県 82.9	45	沖縄県 85.4	45	福島県 85.0	△ 2.6
46	静岡県 85.3	46	山梨県 85.9	46	山梨県 82.7	46	長野県 84.0	46	長野県 84.5	+ 0.5
47	山梨県 84.8	47	静岡県 85.7	46	長野県 82.7	47	山梨県 83.7	47	山梨県 84.0	+ 0.3

全国平均	91.8	全国平均	91.8	全国平均	89.2	全国平均	90.3	全国平均	90.7	+ 0.4
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------

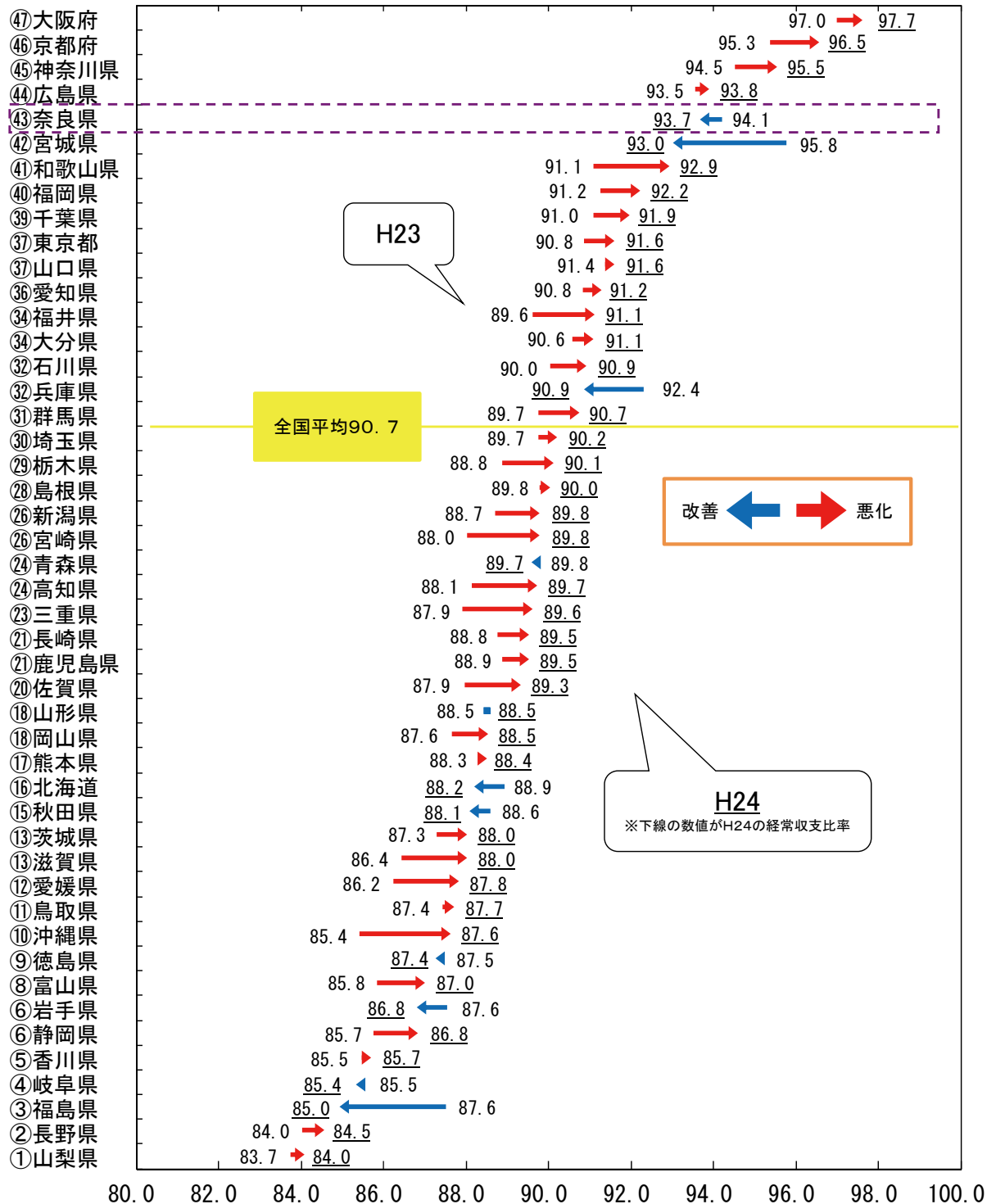
平成24年度各都道府県の経常収支比率(市町村平均)を前年度と比較しグラフ化すると、次のページのとおりとなります。また、近畿2府4県の経常収支比率(市町村平均)の推移をグラフ化すると、9ページのとおりとなります。

各都道府県の経常収支比率(市町村平均)の対前年度比較

前年度と比較すると、改善した団体は奈良県を含め10団体、悪化した団体は36団体、変動なしが1団体です。

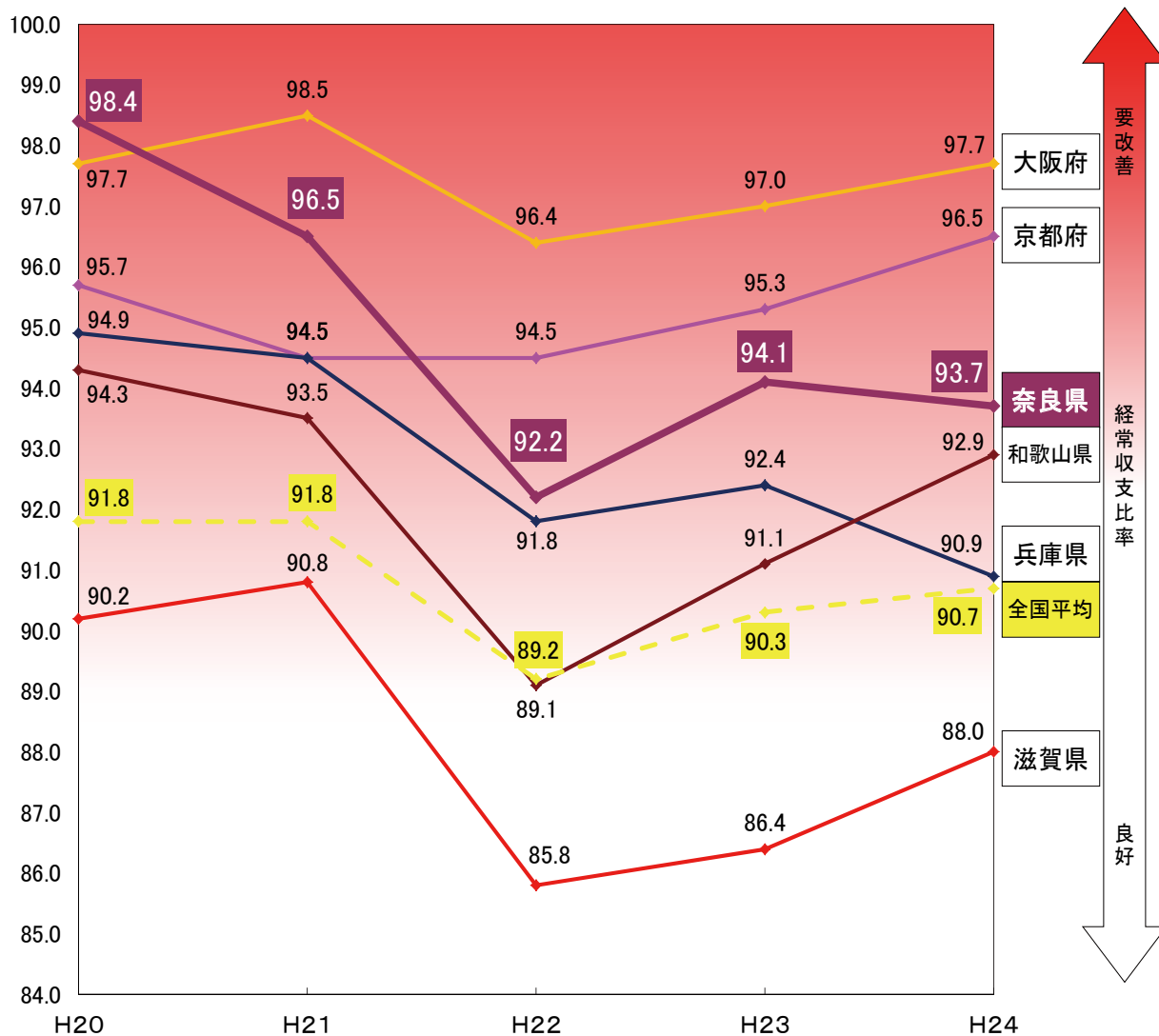


※○内の数字は、全国順位



近畿2府4県の経常収支比率(市町村平均)の推移

奈良県(市町村平均)の順位は平成20年度のワースト1位から平成24年度ではワースト3位まで改善しました。平成24年度の経常収支比率(市町村平均)が前年度と比較して改善したのは、奈良県と兵庫県のみです。



都道府県名	H20		H21		H22		H23		H24	
	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位	経常収支比率	順位
滋賀県	90.2	1	90.8	1	85.8	1	86.4	1	88.0	1
京都府	95.7	4	94.5	3	94.5	5	95.3	5	96.5	5
大阪府	97.7	5	98.5	6	96.4	6	97.0	6	97.7	6
兵庫県	94.9	3	94.5	3	91.8	3	92.4	3	90.9	2
奈良県	98.4	6	96.5	5	92.2	4	94.1	4	93.7	4
和歌山県	94.3	2	93.5	2	89.1	2	91.1	2	92.9	3
全国平均	91.8		91.8		89.2		90.3		90.7	

県内市町村の経常収支比率のワースト順位

前年度より改善した団体は19団体、悪化した団体は19団体、変動なしが1団体です。

(単位：%、位)

	県内 順位	市町村名	24年度		23年度		対前年度 比率の増減 (A-B)
			比率(A)	全国順位	比率(B)	全国順位	
要改善 要治療 全国平均 以上	1	天理市	100.5	1,721	99.6	1,713	0.9
	2	桜井市	98.8	1,697	99.7	1,714	△ 0.9
	3	河合町	98.7	1,695	96.8	1,657	1.9
	4	明日香村	98.5	1,690	90.6	1,252	7.9
	5	奈良市	97.6	1,667	98.9	1,701	△ 1.3
	6	下市町	96.6	1,633	91.6	1,358	5.0
	7	宇陀市	96.5	1,631	92.8	1,460	3.7
	8	山添村	96.2	1,618	92.5	1,441	3.7
	9	御所市	96.0	1,611	95.3	1,607	0.7
	10	橿原市	95.5	1,586	96.1	1,641	△ 0.6
	10	吉野町	95.5	1,586	93.8	1,528	1.7
	12	平群町	95.3	1,575	93.5	1,508	1.8
	12	斑鳩町	95.3	1,575	92.3	1,423	3.0
	14	大和高田市	94.8	1,551	95.1	1,601	△ 0.3
	15	黒滝村	93.3	1,456	99.3	1,704	△ 6.0
	16	広陵町	93.1	1,432	93.1	1,477	0.0
	17	王寺町	92.9	1,416	94.4	1,569	△ 1.5
	18	曾爾村	92.2	1,366	93.6	1,514	△ 1.4
	19	大和郡山市	92.1	1,356	91.0	1,304	1.1
	19	高取町	92.1	1,356	89.6	1,146	2.5
	21	五條市	91.7	1,320	93.2	1,489	△ 1.5
	22	安堵町	91.3	1,275	94.7	1,585	△ 3.4
	23	三郷町	91.0	1,240	87.3	848	3.7
健康 全国平均 未満	24	上牧町	89.9	1,135	88.9	1,051	1.0
	25	香芝市	89.7	1,104	89.0	1,063	0.7
	25	東吉野村	89.7	1,104	88.8	1,031	0.9
	27	田原本町	89.5	1,080	88.6	1,009	0.9
	28	生駒市	89.2	1,035	92.4	1,432	△ 3.2
	29	三宅町	88.6	969	93.1	1,477	△ 4.5
	30	大淀町	87.2	809	87.9	933	△ 0.7
	31	葛城市	86.1	698	82.2	327	3.9
	32	御杖村	86.0	684	87.7	899	△ 1.7
	33	天川村	81.9	343	84.9	581	△ 3.0
	34	川西町	81.4	310	86.9	798	△ 5.5
	35	十津川村	81.0	289	78.7	152	2.3
	36	下北山村	80.4	263	91.7	1,365	△ 11.3
	37	川上村	78.7	210	86.8	783	△ 8.1
	38	野迫川村	68.8	39	89.4	1,115	△ 20.6
	39	上北山村	67.8	32	88.5	1,000	△ 20.7

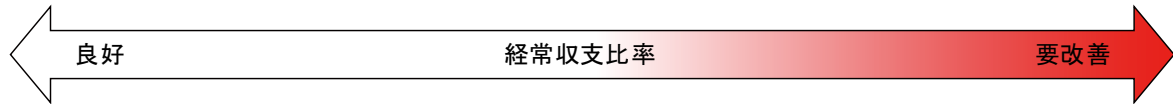
全国平均・市区町村数	90.7	1,742	90.3	1,742	0.4
------------	------	-------	------	-------	-----

(注) 全国平均は加重平均であり、特別区は含まれていません。

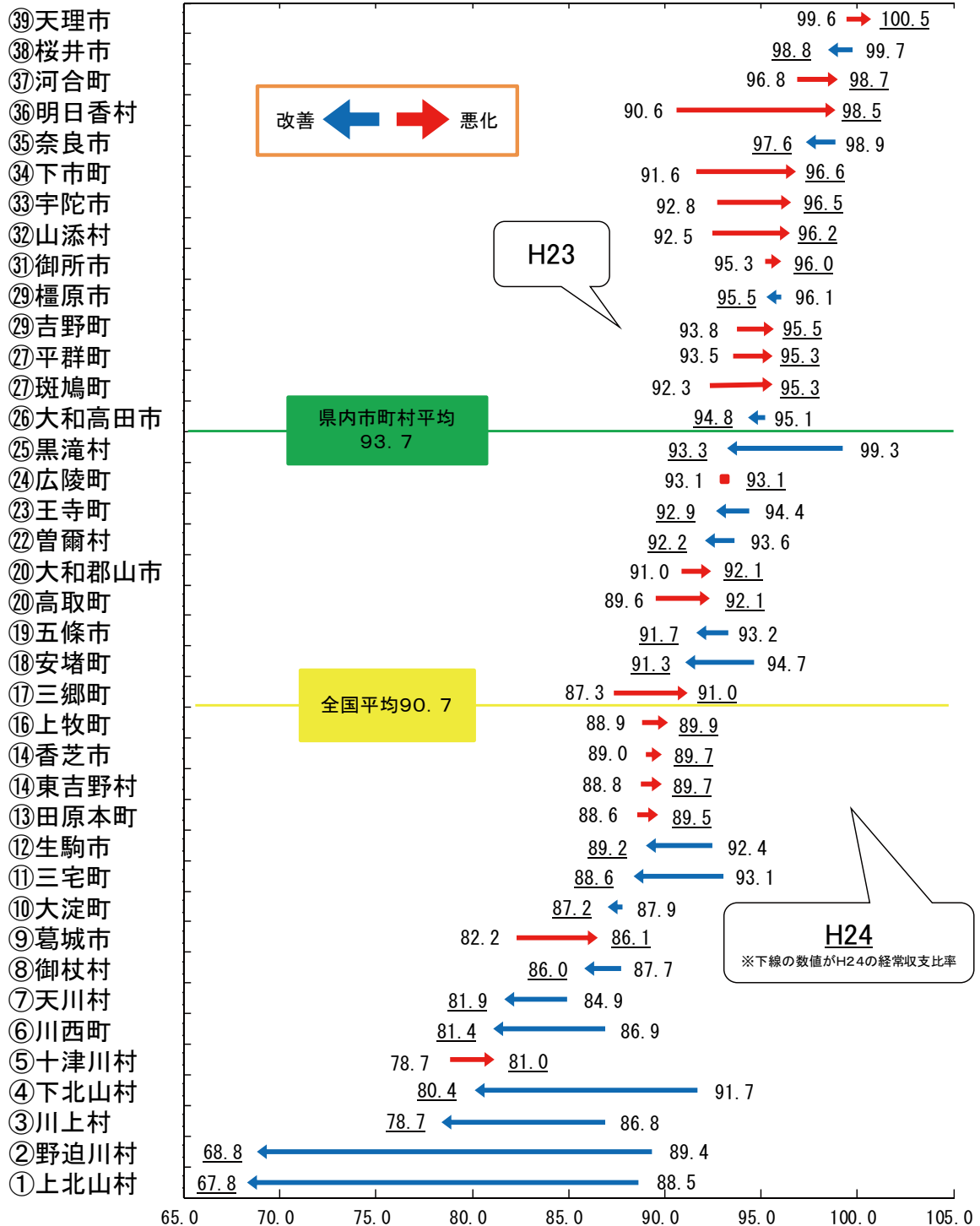
平成24年度県内市町村の経常収支比率を前年度と比較しグラフ化すると、次のページのとおりとなります。また、全国順位をグラフ化すると、12ページのとおりとなります。

県内市町村の経常収支比率の対前年度比較

上北山村、野迫川村、下北山村の改善ポイントが大きく、一方、明日香村、下市町、葛城市の悪化ポイントが大きくなっています。

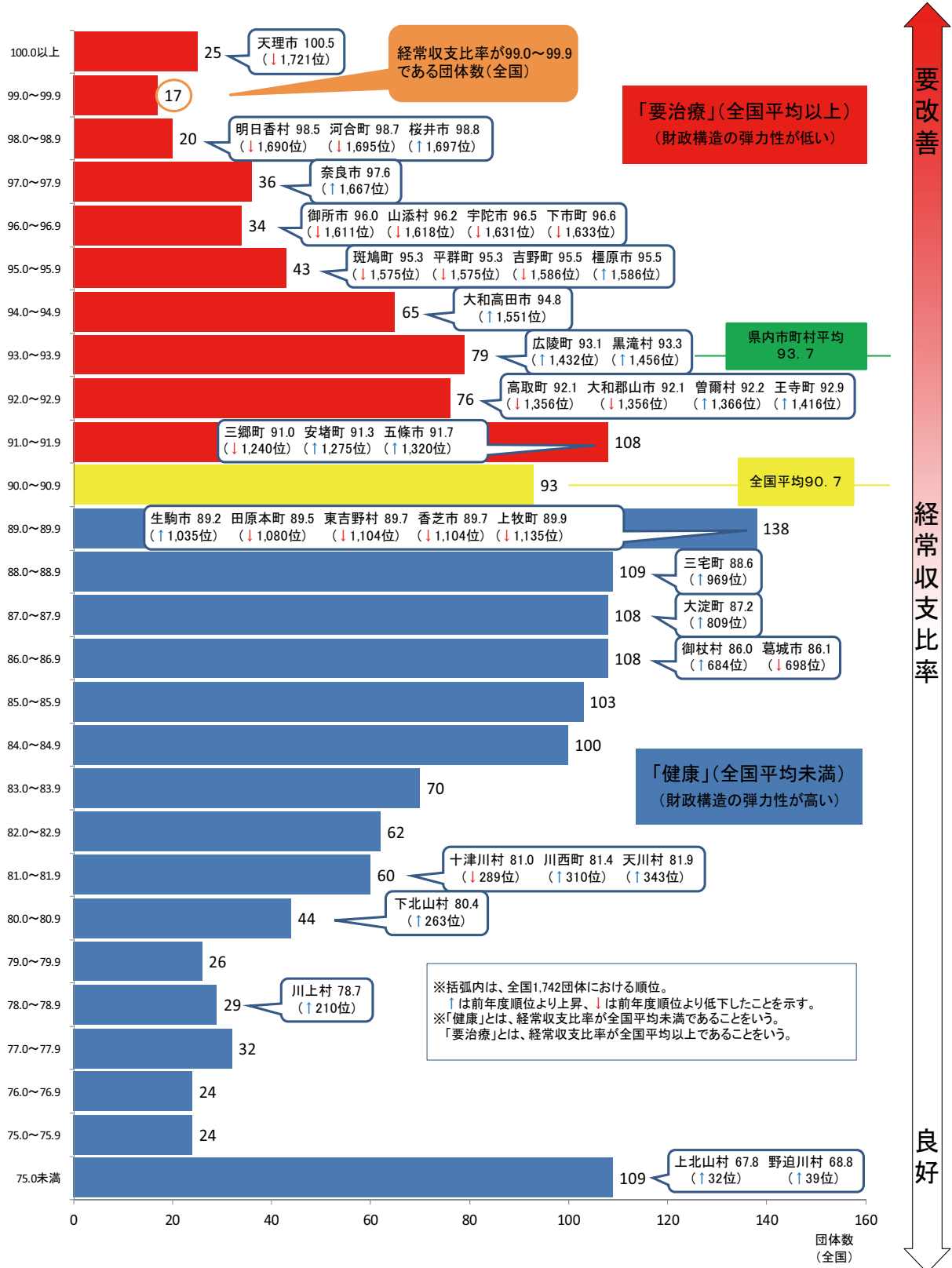


※○内の数字は、県内順位



平成24年度全国市区町村における県内市町村の経常収支比率の状況

全国 1,742 団体と比較すると、天理市、桜井市、河合町、明日香村などの順位が低く、上北山村、野迫川村、川上村などの順位が高くなっています。



県内市町村の経常収支比率の推移

平成24年度において天理市が100%以上(「重症」)になりました。一方、全国平均未満(「健康」)の団体が1団体増加し、16団体となりました。

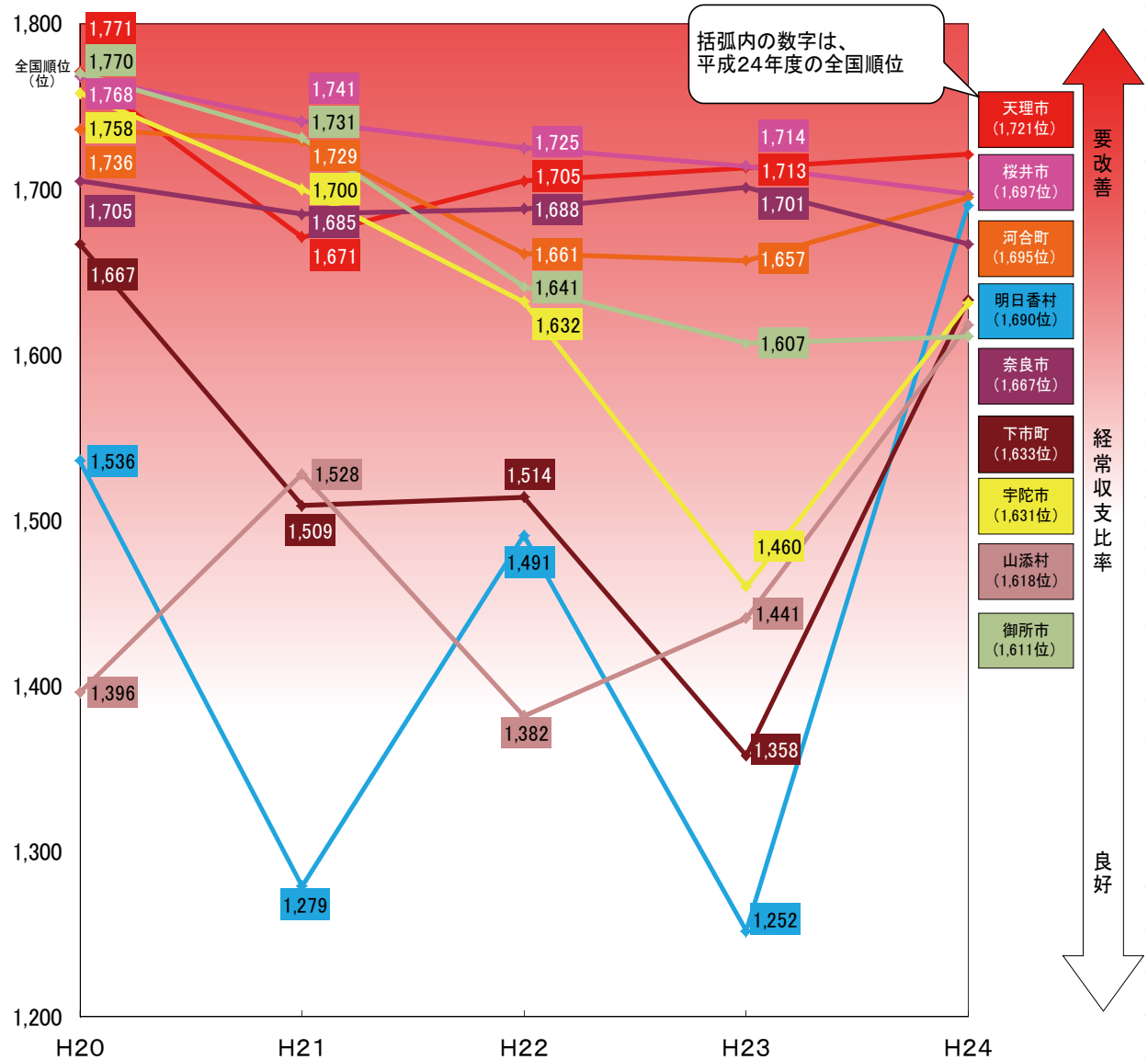
(単位：%)

健康状態	20年度		21年度		22年度		23年度		24年度	
重症 100%以上	黒滝村	108.0	桜井市	102.3	桜井市	97.8	桜井市	99.7	天理市	100.5
	天理市	107.5	三宅町	101.6	天理市	96.6	天理市	99.6	桜井市	98.8
	御所市	106.5	大和高田市	101.2	奈良市	95.8	黒滝村	99.3	河合町	98.7
	桜井市	105.8	御所市	101.1	大和高田市	95.2	奈良市	98.9	明日香村	98.5
	三宅町	102.6	河合町	101.0	河合町	95.1	河合町	96.8	奈良市	97.6
	曾爾村	102.6	曾爾村	100.1	御所市	94.4	橿原市	96.1	下市町	96.6
	宇陀市	102.3	橿原市	99.6	三宅町	94.4	御所市	95.3	宇陀市	96.5
	川西町	102.1	宇陀市	99.5	橿原市	94.3	大和高田市	95.1	山添村	96.2
	大和高田市	102.0	王寺町	99.0	宇陀市	94.2	安堵町	94.7	御所市	96.0
	五條市	101.8	黒滝村	98.9	下北山村	94.0	王寺町	94.4	橿原市	95.5
河合町	100.8	奈良市	98.8	平群町	92.9	吉野町	93.8	吉野町	95.5	
要治療 全国平均以上	奈良市	99.6	安堵町	98.7	安堵町	92.8	曾爾村	93.6	平群町	95.3
	橿原市	99.4	天理市	98.5	黒滝村	92.4	平群町	93.5	斑鳩町	95.3
	上牧町	98.8	川西町	97.9	川西町	92.1	五條市	93.2	大和高田市	94.8
	下市町	98.7	下北山村	96.3	曾爾村	92.0	三宅町	93.1	黒滝村	93.3
	下北山村	98.3	生駒市	95.5	下市町	91.7	広陵町	93.1	広陵町	93.1
	東吉野村	97.7	山添村	95.4	王寺町	91.5	宇陀市	92.8	王寺町	92.9
	安堵町	97.6	上牧町	95.2	斑鳩町	91.3	山添村	92.5	曾爾村	92.2
	高取町	96.7	下市町	95.0	明日香村	91.3	生駒市	92.4	大和郡山市	92.1
	広陵町	96.5	大和郡山市	94.4	三郷町	90.9	斑鳩町	92.3	高取町	92.1
	生駒市	96.4	田原本町	94.0	広陵町	90.3	下北山村	91.7	五條市	91.7
	明日香村	96.1	広陵町	94.0	生駒市	90.2	下市町	91.6	安堵町	91.3
	平群町	96.0	東吉野村	93.1	山添村	89.9	大和郡山市	91.0	三郷町	91.0
	御杖村	95.8	斑鳩町	92.7	香芝市	89.4	明日香村	90.6	上牧町	89.9
	山添村	94.6	五條市	92.5	上牧町	89.4	高取町	89.6	香芝市	89.7
	大和郡山市	94.3	香芝市	92.4	吉野町	88.8	野迫川村	89.4	東吉野村	89.7
	斑鳩町	94.0	平群町	92.3	御杖村	88.2	香芝市	89.0	田原本町	89.5
	田原本町	93.6	明日香村	92.3	大和郡山市	88.0	上牧町	88.9	生駒市	89.2
	吉野町	93.2	吉野町	92.0	田原本町	87.9	東吉野村	88.8	三宅町	88.6
	三郷町	93.1	高取町	91.1	野迫川村	87.5	田原本町	88.6	大淀町	87.2
	王寺町	92.7	大淀町	89.6	上北山村	87.0	上北山村	88.5	葛城市	86.1
大淀町	92.6	御杖村	89.4	東吉野村	86.4	大淀町	87.9	御杖村	86.0	
天川村	92.1	天川村	87.7	五條市	86.3	御杖村	87.7	天川村	81.9	
健康 全国平均未満	上北山村	91.5	野迫川村	87.5	高取町	86.3	三郷町	87.3	川西町	81.4
	野迫川村	91.3	葛城市	87.3	川上村	85.0	川西町	86.9	十津川村	81.0
	葛城市	91.2	三郷町	87.3	天川村	84.9	川上村	86.8	下北山村	80.4
	香芝市	91.0	川上村	86.6	大淀町	83.8	天川村	84.9	川上村	78.7
	川上村	87.6	上北山村	85.5	葛城市	82.6	葛城市	82.2	野迫川村	68.8
	十津川村	83.2	十津川村	79.4	十津川村	79.4	十津川村	78.7	上北山村	67.8
県平均	98.4	県平均	96.5	県平均	92.2	県平均	94.1	県平均	93.7	
全国平均	91.8	全国平均	91.8	全国平均	89.2	全国平均	90.3	全国平均	90.7	

平成24年度県内市町村の経常収支比率を全国順位で4グループに区分し、推移を分析すると、14～18ページのとおりとなります。

平成24年度の全国順位が1,600位以下であった県内市町村の順位の推移

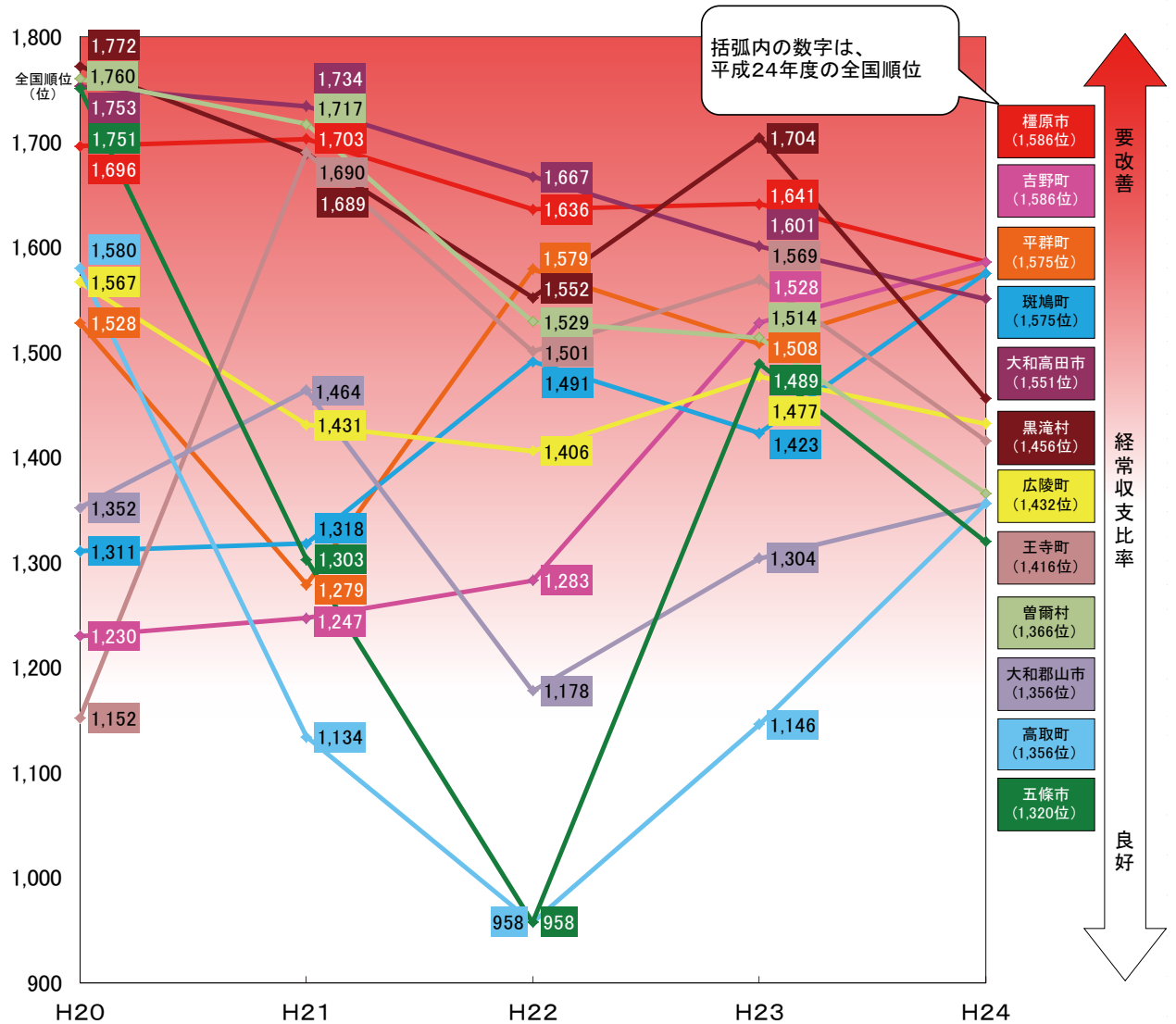
平成24年度経常収支比率の全国順位が1,600位以下であったのは天理市など9団体です。このうち、御所市の全国順位は上昇傾向にあり、明日香村の全国順位は平成24年度で大きく低下しました。



市町村名	H20		H21		H22		H23		H24	
	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位
天理市	107.5	1,771	98.5	1,671	96.6	1,705	99.6	1,713	100.5	1,721
桜井市	105.8	1,768	102.3	1,741	97.8	1,725	99.7	1,714	98.8	1,697
河合町	100.8	1,736	101.0	1,729	95.1	1,661	96.8	1,657	98.7	1,695
明日香村	96.1	1,536	92.3	1,279	91.3	1,491	90.6	1,252	98.5	1,690
奈良市	99.6	1,705	98.8	1,685	95.8	1,688	98.9	1,701	97.6	1,667
下市町	98.7	1,667	95.0	1,509	91.7	1,514	91.6	1,358	96.6	1,633
宇陀市	102.3	1,758	99.5	1,700	94.2	1,632	92.8	1,460	96.5	1,631
山添村	94.6	1,396	95.4	1,528	89.9	1,382	92.5	1,441	96.2	1,618
御所市	106.5	1,770	101.1	1,731	94.4	1,641	95.3	1,607	96.0	1,611

平成24年度の全国順位が1,300位～1,599位であった県内市町村の順位の推移

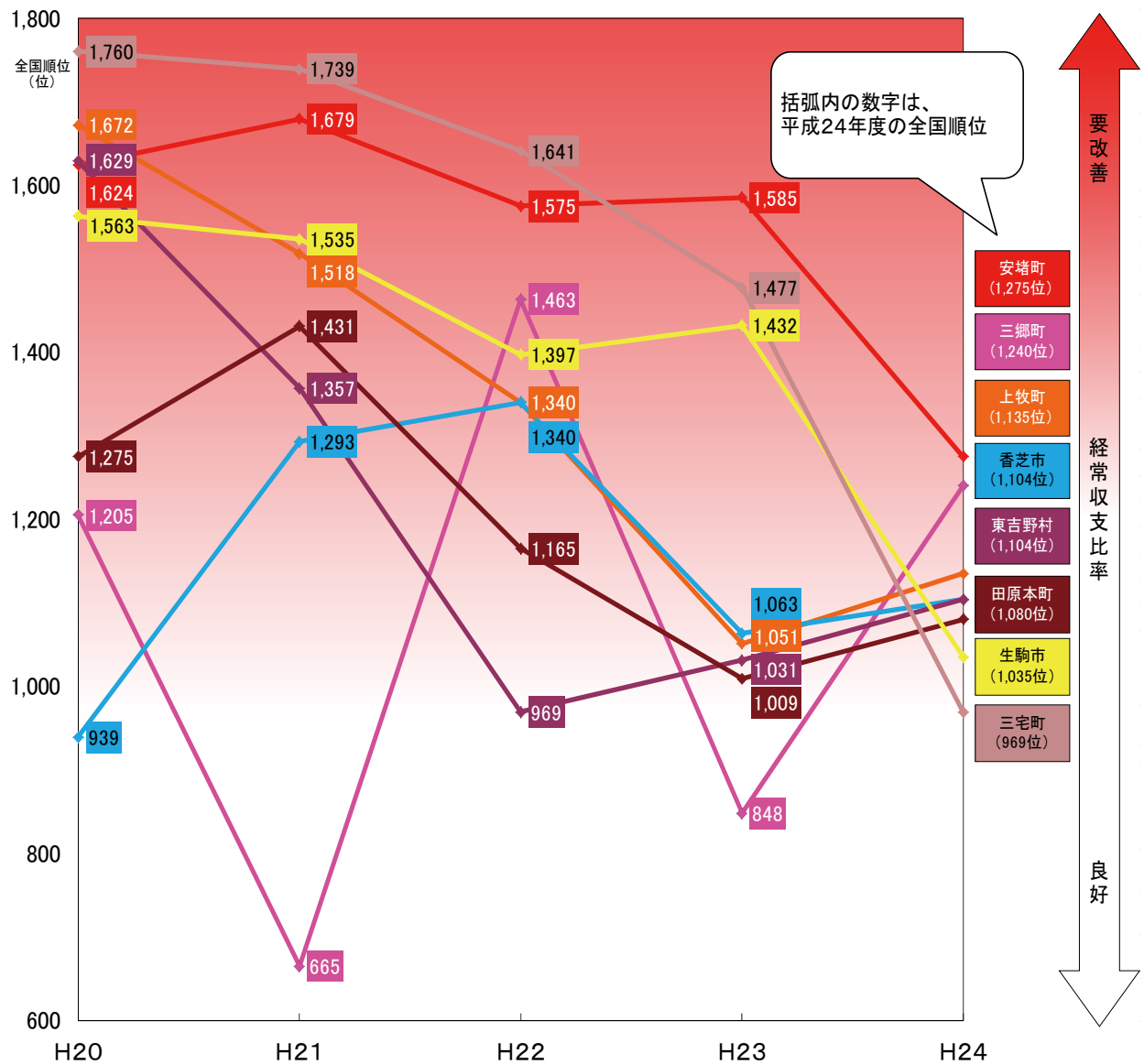
平成24年度経常収支比率の全国順位が1,300位～1,599位であったのは橿原市など12団体です。このうち、曾爾村の全国順位は上昇傾向にあり、高取町の全国順位は平成24年度で大きく低下しました。



市町村名	H20		H21		H22		H23		H24	
	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位
橿原市	99.4	1,696	99.6	1,703	94.3	1,636	96.1	1,641	95.5	1,586
吉野町	93.2	1,230	92.0	1,247	88.8	1,283	93.8	1,528	95.5	1,586
平群町	96.0	1,528	92.3	1,279	92.9	1,579	93.5	1,508	95.3	1,575
斑鳩町	94.0	1,311	92.7	1,318	91.3	1,491	92.3	1,423	95.3	1,575
大和高田市	102.0	1,753	101.2	1,734	95.2	1,667	95.1	1,601	94.8	1,551
黒滝村	108.0	1,772	98.9	1,689	92.4	1,552	99.3	1,704	93.3	1,456
広陵町	96.5	1,567	94.0	1,431	90.3	1,406	93.1	1,477	93.1	1,432
王寺町	92.7	1,152	99.0	1,690	91.5	1,501	94.4	1,569	92.9	1,416
曾爾村	102.6	1,760	100.1	1,717	92.0	1,529	93.6	1,514	92.2	1,366
大和郡山市	94.3	1,352	94.4	1,464	88.0	1,178	91.0	1,304	92.1	1,356
高取町	96.7	1,580	91.1	1,134	86.3	958	89.6	1,146	92.1	1,356
五條市	101.8	1,751	92.5	1,303	86.3	958	93.2	1,489	91.7	1,320

平成24年度の全国順位が900位～1,299位であった県内市町村の順位の推移

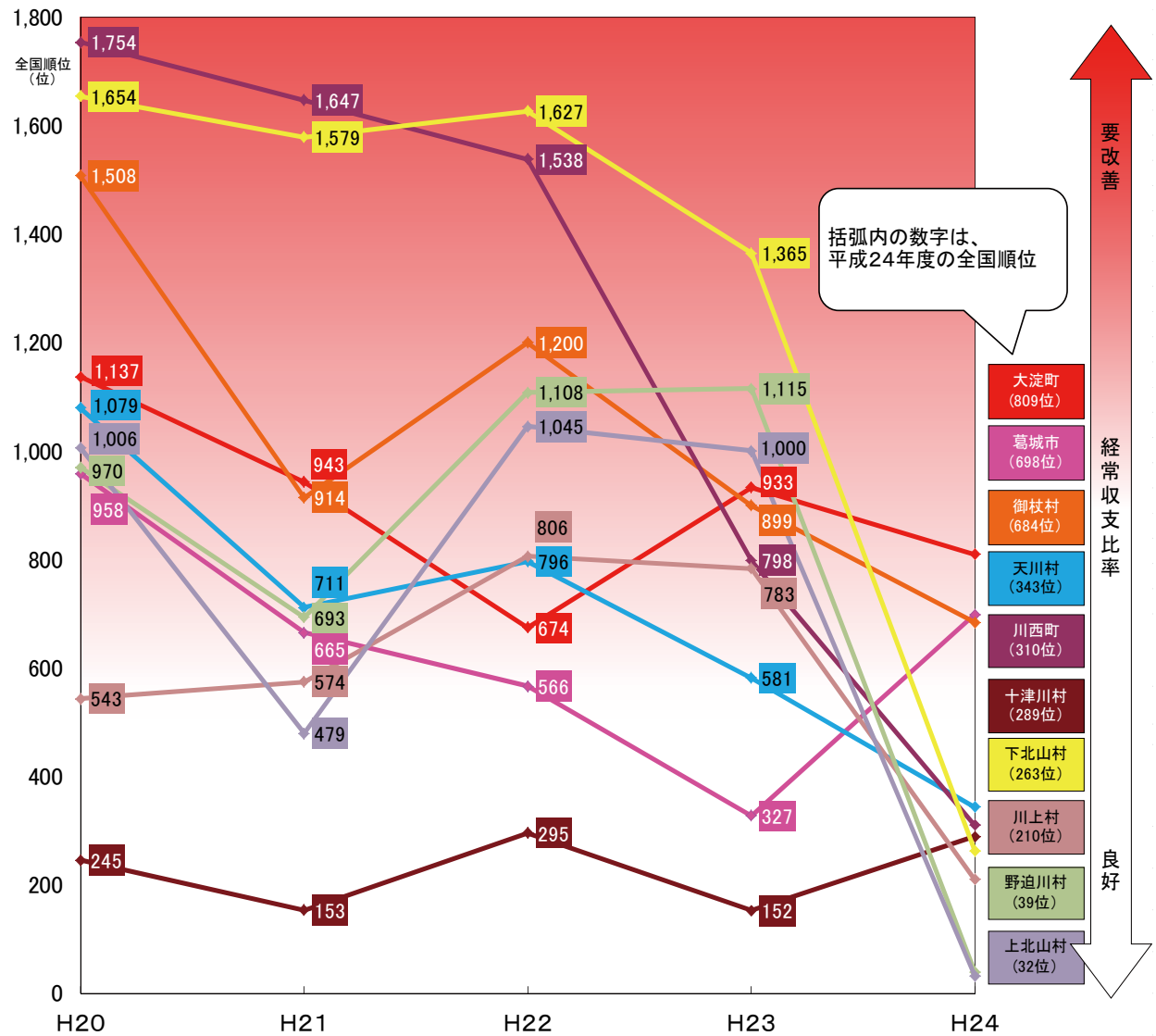
平成24年度経常収支比率の全国順位が900位～1,299位であったのは安堵町など8団体です。このうち、三宅町の全国順位は上昇傾向にあり、三郷町の全国順位は平成24年度で大きく低下しました。



市町村名	H20		H21		H22		H23		H24	
	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位
安堵町	97.6	1,624	98.7	1,679	92.8	1,575	94.7	1,585	91.3	1,275
三郷町	93.1	1,205	87.3	665	90.9	1,463	87.3	848	91.0	1,240
上牧町	98.8	1,672	95.2	1,518	89.4	1,340	88.9	1,051	89.9	1,135
香芝市	91.0	939	92.4	1,293	89.4	1,340	89.0	1,063	89.7	1,104
東吉野村	97.7	1,629	93.1	1,357	86.4	969	88.8	1,031	89.7	1,104
田原本町	93.6	1,275	94.0	1,431	87.9	1,165	88.6	1,009	89.5	1,080
生駒市	96.4	1,563	95.5	1,535	90.2	1,397	92.4	1,432	89.2	1,035
三宅町	102.6	1,760	101.6	1,739	94.4	1,641	93.1	1,477	88.6	969

平成24年度の全国順位が899位以上であった県内市町村の順位の推移

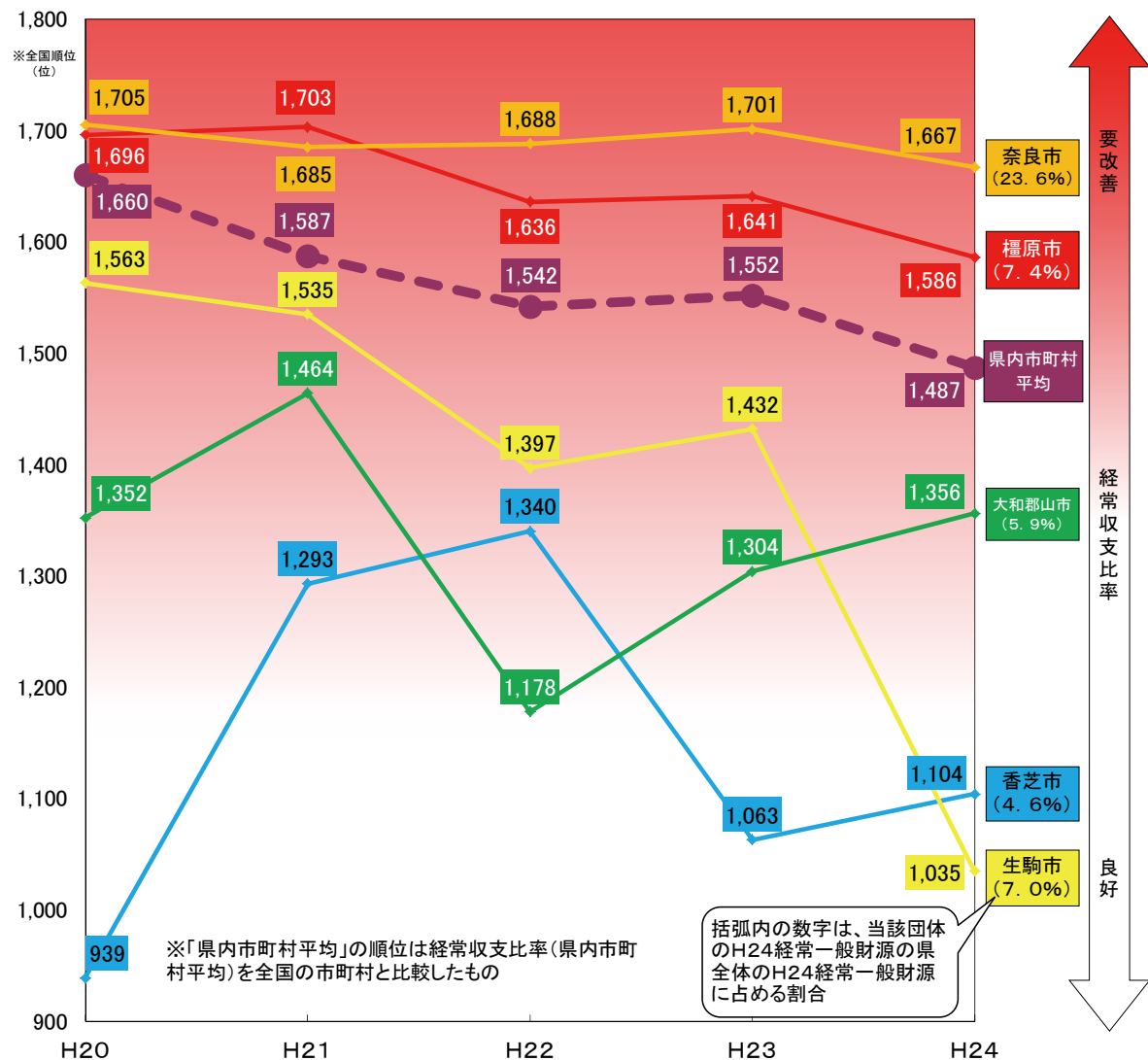
平成24年度経常収支比率の全国順位が899位以上であったのは大淀町など10団体です。このうち、川西町の全国順位は上昇傾向にあり、葛城市の全国順位は平成24年度で大きく低下しました。



市町村名	H20		H21		H22		H23		H24	
	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位
大淀町	92.6	1,137	89.6	943	83.8	674	87.9	933	87.2	809
葛城市	91.2	958	87.3	665	82.6	566	82.2	327	86.1	698
御杖村	95.8	1,508	89.4	914	88.2	1,200	87.7	899	86.0	684
天川村	92.1	1,079	87.7	711	84.9	796	84.9	581	81.9	343
川西町	102.1	1,754	97.9	1,647	92.1	1,538	86.9	798	81.4	310
十津川村	83.2	245	79.4	153	79.4	295	78.7	152	81.0	289
下北山村	98.3	1,654	96.3	1,579	94.0	1,627	91.7	1,365	80.4	263
川上村	87.6	543	86.6	574	85.0	806	86.8	783	78.7	210
野迫川村	91.3	970	87.5	693	87.5	1,108	89.4	1,115	68.8	39
上北山村	91.5	1,006	85.5	479	87.0	1,045	88.5	1,000	67.8	32

財政規模が大きい県内市町村(平成24年度経常一般財源の上位5団体)の経常収支比率の全国順位の推移

平成20年度においては奈良市、橿原市など財政規模の大きい団体の経常収支比率の全国順位が低く、このことが県内市町村平均の順位が低い一因であったと考えられます。平成24年度においては、これら団体の経常収支比率が改善傾向にあることが県内市町村平均の順位を改善しました。これらのことから、財政規模の大きい団体は、県内市町村平均の数値の動向に強い影響を及ぼしていることがわかります。



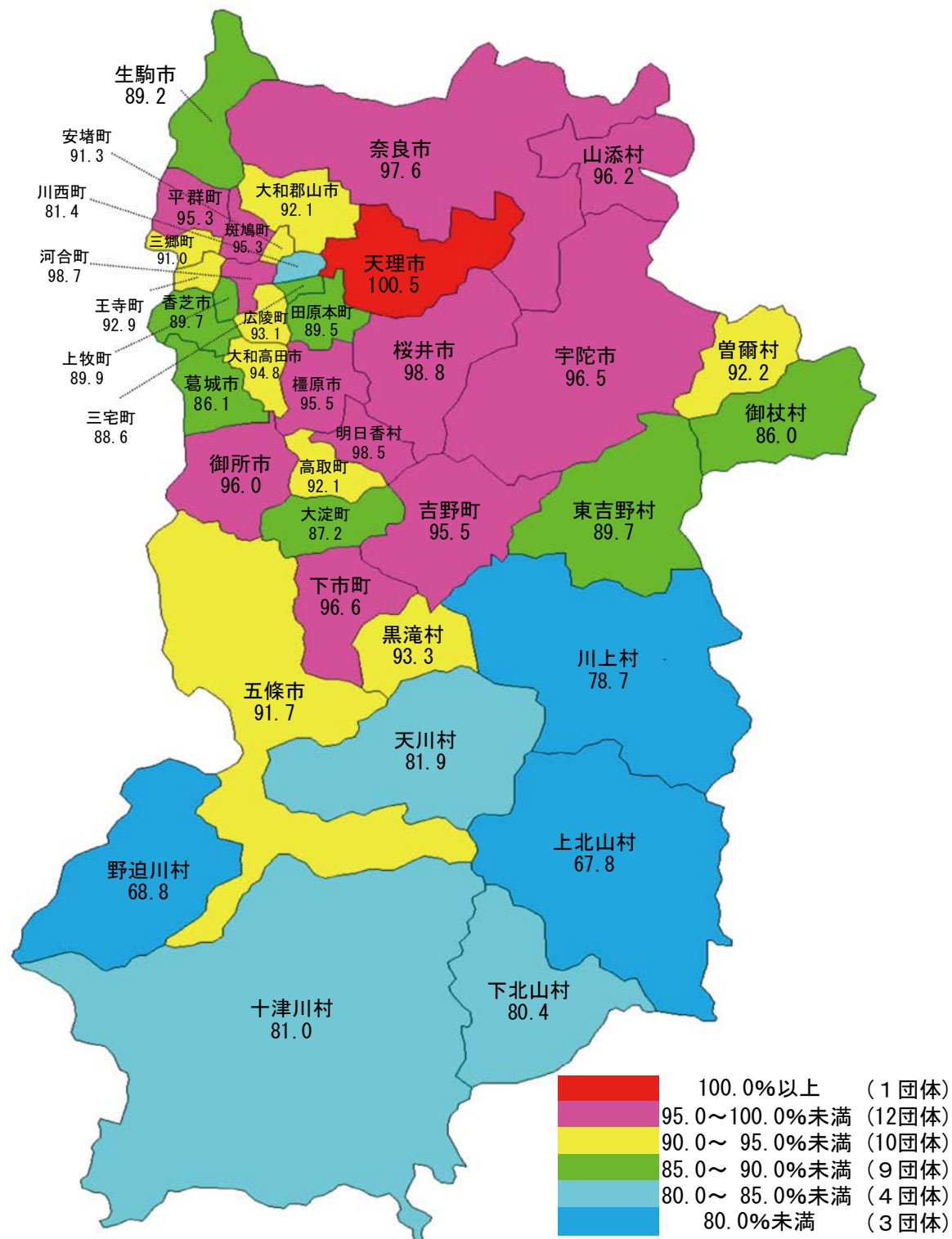
	H20		H21		H22		H23		H24	
	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位	経常収支比率	全国順位
奈良市	99.6	1,705	98.8	1,685	95.8	1,688	98.9	1,701	97.6	1,667
橿原市	99.4	1,696	99.6	1,703	94.3	1,636	96.1	1,641	95.5	1,586
大和郡山市	94.3	1,352	94.4	1,464	88.0	1,178	91.0	1,304	92.1	1,356
香芝市	91.0	939	92.4	1,293	89.4	1,340	89.0	1,063	89.7	1,104
生駒市	96.4	1,563	95.5	1,535	90.2	1,397	92.4	1,432	89.2	1,035
県内市町村平均	98.4	1,660 (47位)	96.5	1,587 (46位)	92.2	1,542 (44位)	94.1	1,552 (43位)	93.7	1,487 (43位)

※県内市町村平均の括弧内の順位は全国都道府県(市町村平均)と比較した順位

平成24年度県内市町村の経常収支比率の状況(地図)

平成24年度県内市町村の経常収支比率を地図で表すと以下のとおりとなります。

経常収支比率が85%未満の団体は上北山村、野迫川村など7団体で県南部で多くなっています。

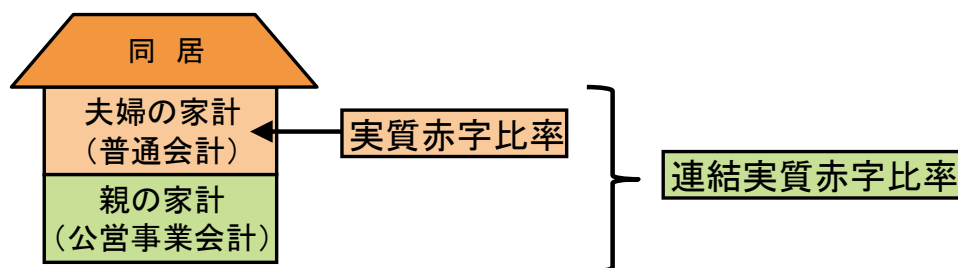


2-2. 家計が赤字になっていないか

(実質赤字比率)

(連結実質赤字比率)

赤字については、「①夫婦の家計(普通会計)」と「②家族全体の家計(夫婦の家計と同居する親の家計の合算(普通会計+公営事業会計))」とで調べるのが大切です。夫婦の家計が大丈夫でも、家族全体では大変なことになっているかもしれません。この場合は、赤字の大きさがわかる実質赤字比率(夫婦の赤字=普通会計)と、連結実質赤字比率(家族の赤字=普通会計+公営事業会計)をそれぞれ他の家族(市町村)の比率と比較すれば、家計の赤字が深刻な状況になっているかがわかります。



①夫婦の家計の状況を調べるには?・・・実質赤字比率

$$\text{夫婦の家計の赤字の大きさ (実質赤字比率)} = \frac{\text{夫婦の家計(総収入 - 総支出)}}{\text{夫婦の給料(標準財政規模)}}$$

家計にととると		市町村財政(普通会計)	
収入	給料	給与	歳入
	ボーナス	市町村税	
	手当(扶養・住宅)	地方譲与税、各種交付金	
	災害見舞金(支援金)	普通交付税	
	貯蓄の取り崩し	特別交付税	
	その他臨時収入	地方交付税	
	去年から繰り越したお金	繰入金	
新たな借金	国・県支出金、使用料、手数料、諸収入等	繰越金	
		市町村債	
支出	食費	人件費	歳出
	最低限の生活費	扶助費、物件費、維持修繕費	
	医療費、光熱水費、修繕費等	補助費等、繰出金	
	親や子どもへの生活費の仕送り等	公債費	
	ローンの返済	普通建設	
	家の購入、車の購入	災害復旧事業費	
	自然災害による修繕	積立金	
	貯蓄の積立て	投資的経費	
株式投資等	投資・出資金、貸付金		
去年の支払に回したお金	前年度繰上充用金		

県内市町村の実質赤字比率の状況

奈良県内、全国ともに赤字市町村は無し

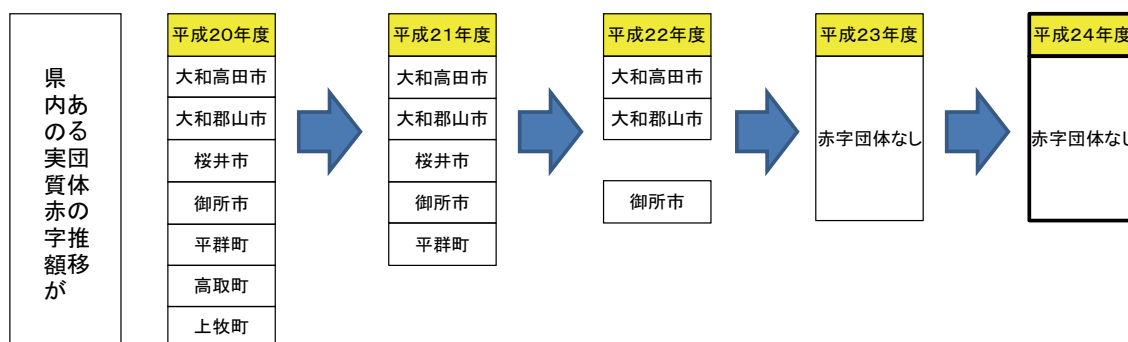
前年度においても、赤字市町村はありませんでした。(全国：㊸2団体)

参考 地方公共団体財政健全化法に基づく「実質赤字比率」

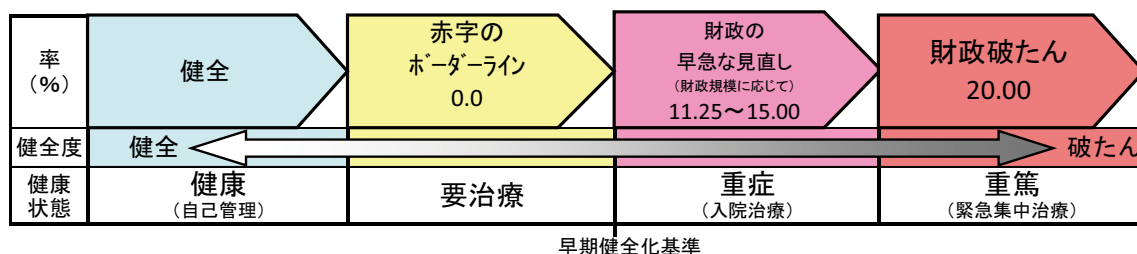
平成24年度決算では、重症(早期健全化基準[※]以上)になった団体はありません(P22)。

※財政健全化法に定める基準で、一定割合を超すと「財政健全化計画」を策定することになります。

- 平成23年度決算において、総務省が決算統計データを公開している1969年度決算以降、初めて県内全市町村が黒字団体になりました。



実質赤字比率を健康状態であらわすと



県内市町村の実質赤字比率のワースト順位

前年度に引き続き、実質赤字がある団体はありません。

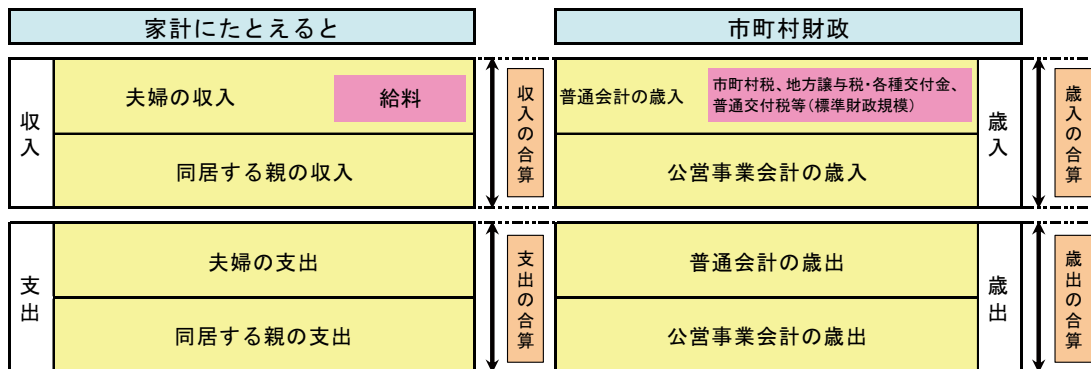
(単位：%)

	県内 順位	市町村名	24年度		23年度	対前年度 比率の増減 (A-B)
			比率(A)	早期健全化 基準	比率(B)	
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">要改善</div> <div style="width: 20px; height: 300px; border-left: 2px solid gray; border-right: 2px solid gray; margin: 0 10px;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 10px;">良好</div> </div>	1	奈良市	△ 0.08	11.25	△ 0.10	0.0
	2	河合町	△ 0.17	15.00	△ 2.14	2.0
	3	大和郡山市	△ 0.27	12.55	△ 0.26	△ 0.0
	4	大淀町	△ 0.86	15.00	△ 4.05	3.2
	5	香芝市	△ 1.37	12.82	△ 3.37	2.0
	6	川西町	△ 1.73	15.00	△ 1.92	0.2
	7	王寺町	△ 2.14	15.00	△ 1.99	△ 0.2
	8	下北山村	△ 3.16	15.00	△ 4.53	1.4
	9	橿原市	△ 3.24	12.22	△ 3.12	△ 0.1
	10	三宅町	△ 3.26	15.00	△ 5.10	1.8
	11	平群町	△ 3.63	15.00	△ 0.51	△ 3.1
	12	山添村	△ 4.90	15.00	△ 9.44	4.5
	13	上牧町	△ 5.15	15.00	△ 5.30	0.1
	14	桜井市	△ 5.20	13.02	△ 1.51	△ 3.7
	15	宇陀市	△ 5.23	13.04	△ 6.79	1.6
	16	天理市	△ 5.32	12.85	△ 6.59	1.3
	17	大和高田市	△ 5.38	12.84	△ 3.85	△ 1.5
	18	下市町	△ 6.44	15.00	△ 10.06	3.6
	19	生駒市	△ 6.80	12.29	△ 5.89	△ 0.9
	20	御所市	△ 7.08	13.78	△ 3.87	△ 3.2
	21	高取町	△ 7.11	15.00	△ 5.49	△ 1.6
	22	黒滝村	△ 8.43	15.00	△ 16.57	8.1
	23	葛城市	△ 8.86	13.57	△ 9.11	0.3
	24	御杖村	△ 9.38	15.00	△ 15.59	6.2
	25	田原本町	△ 9.68	14.08	△ 6.83	△ 2.9
	26	曾爾村	△ 9.72	15.00	△ 11.23	1.5
	27	斑鳩町	△ 10.09	14.66	△ 11.40	1.3
	28	広陵町	△ 10.48	13.99	△ 10.73	0.3
	29	五條市	△ 10.62	13.15	△ 10.70	0.1
	30	吉野町	△ 11.39	15.00	△ 13.57	2.2
	31	川上村	△ 12.32	15.00	△ 12.97	0.7
	32	野迫川村	△ 12.69	15.00	△ 10.77	△ 1.9
	33	明日香村	△ 13.25	15.00	△ 17.18	3.9
	34	安堵町	△ 16.54	15.00	△ 23.98	7.4
	35	天川村	△ 16.60	15.00	△ 32.76	16.2
	36	十津川村	△ 17.27	15.00	△ 4.79	△ 12.5
	37	上北山村	△ 17.78	15.00	△ 17.42	△ 0.4
	38	三郷町	△ 21.27	15.00	△ 8.92	△ 12.4
	39	東吉野村	△ 42.09	15.00	△ 35.83	△ 6.3

※比率は赤字団体が「+」、黒字団体が「△」になります。

②家族全体の家計の状況を調べるには？・・・連結実質赤字比率

$$\frac{\text{家族全体の家計の赤字の大きさ (連結実質赤字比率)}}{=} \frac{\text{夫婦の家計+同居する親の家計 (家族全体の収入-家族全体の支出)}}{\text{夫婦の給料 (標準財政規模)}}$$



県内市町村の連結実質赤字比率の状況

連結赤字市町村は無し（全国は7団体）

前年度においても、連結赤字市町村はありませんでした。（全国：㊸9団体）

参考 地方公共団体財政健全化法に基づく「連結実質赤字比率」

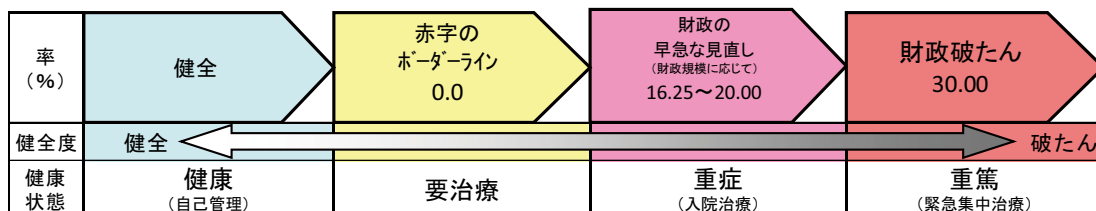
平成24年度決算では、重症(早期健全化基準以上)及び要治療(赤字決算)になった団体はありません(P24)。

- 連結実質赤字額がある団体数の推移は以下のとおりです。

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
全国	39	31	17	9	7
うち奈良県	3	2	—	—	—

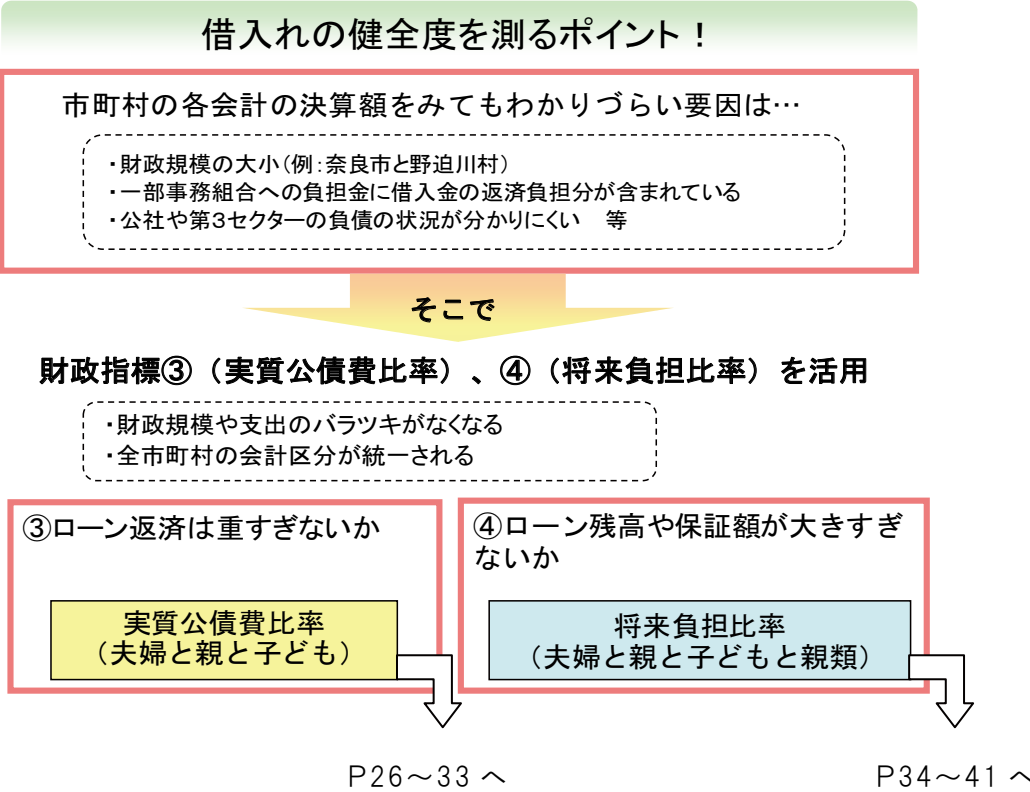
(大和高田市、御所市、高取町) (大和高田市、御所市)

連結実質赤字比率を健康状態であらわすと



3. 借入れや保証の健全度を測るポイントは？

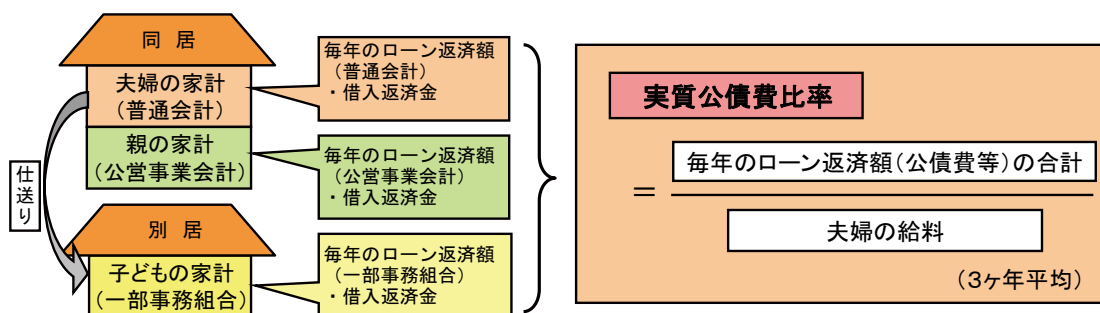
ここでは、③毎年のローン返済（公債費）が重すぎないか、また④ローンの残高（地方債残高）や保証（公社などへの債務保証）などの負債の総額が大きすぎないかがポイントになります。ここでも比較のために、夫婦の給料を基準にしています。



財政指標	<div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">健全</div> <div style="flex-grow: 1; border-bottom: 1px solid black; position: relative; margin: 0 10px;"> <div style="position: absolute; top: -5px; left: 0; right: 0;">←</div> <div style="position: absolute; top: -5px; right: 0; left: 0;">→</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">破たん</div> </div>			
健康状態	健康 自己管理	要治療	重症 入院治療	重篤 緊急集中治療
実質公債費比率	9.2%	25.0%	35.0%	
将来負担比率	60.0%	350.0%		

3-1. 毎年のローン返済が重すぎないか(実質公債費比率)

夫婦と同居する親(市町村の全ての会計)だけでなく、別居の子ども(一部事務組合等)にも借入れがある場合は、夫婦と同居する親のローン返済額(公債費)と別居の子どもへの仕送りの一部(一部事務組合等への負担金)が返済額全体となります。返済額の負担度合いを表す「実質公債費比率」が大きいほど、ローン返済に困っていることとなります。



県内市町村の実質公債費比率の状況

重症(25.0%以上)の市町村は無し

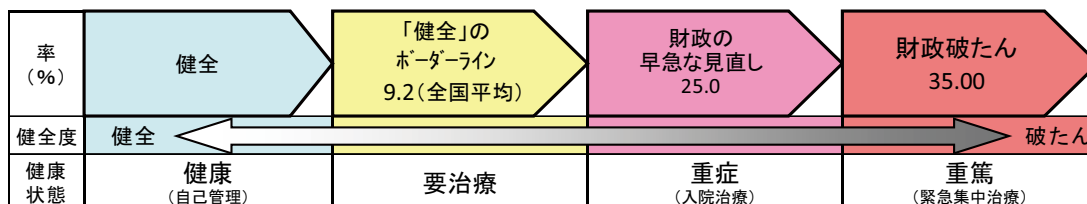
・全国 ㊴1団体(㊴1団体)

参考 地方公共団体財政健全化法に基づく「実質公債費比率」

平成24年度決算では、早期健全化基準(25.0%)以上の団体はありません(P29)。

●全国平均9.2%以上(要治療)…29団体(前年度から4団体減)

実質公債費比率を健康状態であらわすと



各都道府県の実質公債費比率(市町村平均)のワースト順位

前年度より0.9ポイント改善し、県内市町村平均は12.2%になりました。全国順位は前年度より1位改善し、ワースト12位になりました。

(単位：%、位)

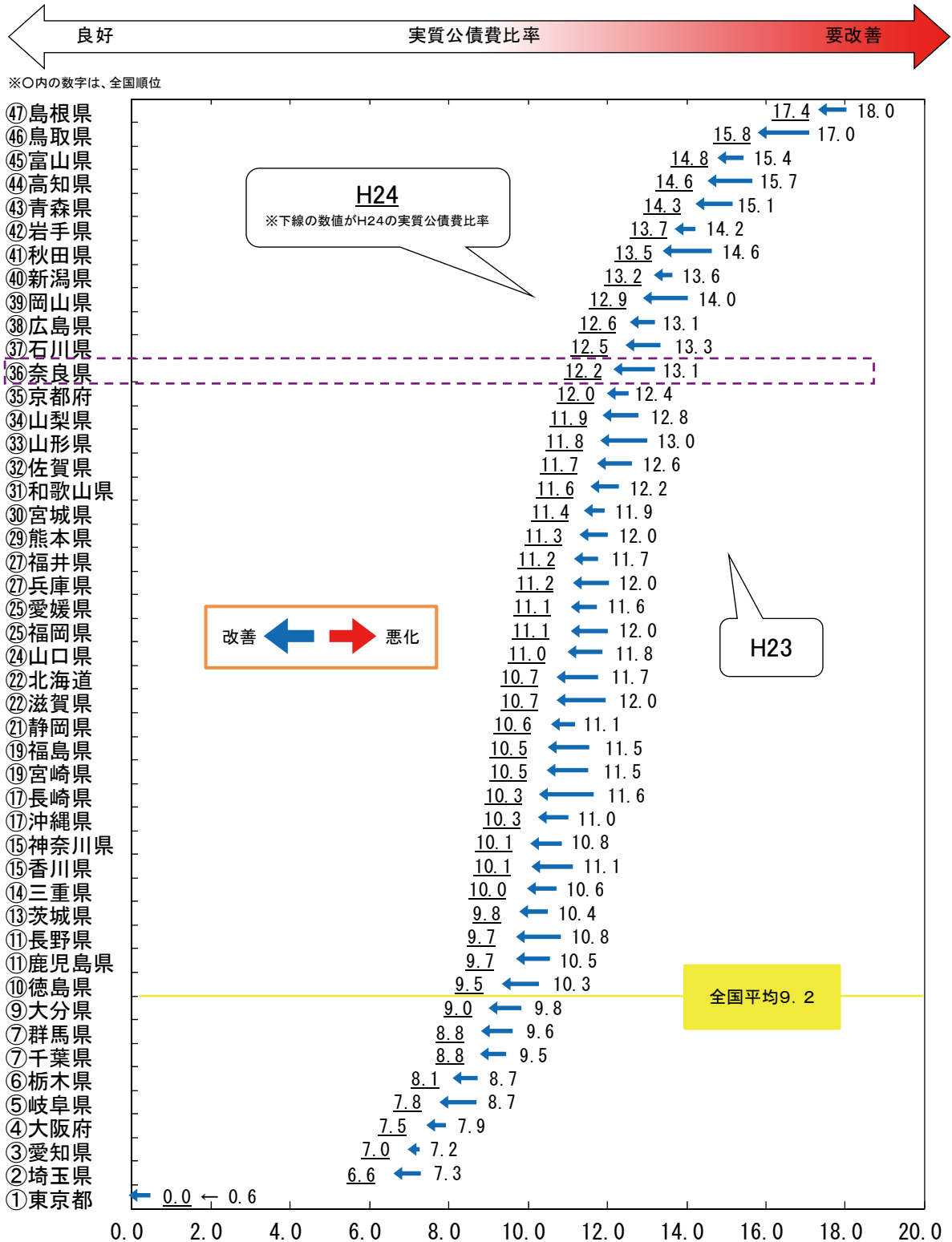
順位	H20年度		順位	H21年度		順位	H22年度		順位	H23年度		順位	H24年度		H24-H23 比率の増減
1	島根県	21.3	1	島根県	19.9	1	島根県	18.6	1	島根県	18.0	1	島根県	17.4	△ 0.6
2	鳥取県	18.9	2	鳥取県	18.5	2	鳥取県	17.7	2	鳥取県	17.0	2	鳥取県	15.8	△ 1.2
3	高知県	18.2	3	高知県	17.4	3	高知県	16.5	3	高知県	15.7	3	富山県	14.8	△ 0.6
4	秋田県	17.3	4	青森県	16.7	4	青森県	15.9	4	富山県	15.4	4	高知県	14.6	△ 1.1
5	青森県	17.0	4	秋田県	16.7	5	富山県	15.8	5	青森県	15.1	5	青森県	14.3	△ 0.8
6	岩手県	16.9	6	富山県	16.3	6	秋田県	15.5	6	秋田県	14.6	6	岩手県	13.7	△ 0.5
7	富山県	16.6	7	岩手県	16.1	7	岩手県	15.0	7	岩手県	14.2	7	秋田県	13.5	△ 1.1
8	山形県	16.5	8	岡山県	15.8	8	岡山県	14.8	8	岡山県	14.0	8	新潟県	13.2	△ 0.4
9	岡山県	16.4	9	山形県	15.7	9	山形県	14.3	9	新潟県	13.6	9	岡山県	12.9	△ 1.1
10	山梨県	15.4	10	新潟県	14.9	10	新潟県	14.2	10	石川県	13.3	10	広島県	12.6	△ 0.5
11	新潟県	15.3	11	山梨県	14.6	11	石川県	13.9	11	奈良県	13.1	11	石川県	12.5	△ 0.8
12	滋賀県	15.1	12	奈良県	14.5	12	奈良県	13.8	11	広島県	13.1	12	奈良県	12.2	△ 0.9
13	奈良県	14.8	13	滋賀県	14.4	13	山梨県	13.7	13	山形県	13.0	13	京都府	12.0	△ 0.4
14	佐賀県	14.8	14	石川県	14.3	14	滋賀県	13.5	14	山梨県	12.8	14	山梨県	11.9	△ 0.9
15	和歌山県	14.6	14	佐賀県	14.3	15	広島県	13.4	15	佐賀県	12.6	15	山形県	11.8	△ 1.2
16	香川県	14.6	16	和歌山県	14.0	15	佐賀県	13.4	16	京都府	12.4	16	佐賀県	11.7	△ 0.9
17	石川県	14.5	16	広島県	14.0	17	和歌山県	13.0	17	和歌山県	12.2	17	和歌山県	11.6	△ 0.6
18	愛媛県	14.4	18	北海道	13.7	18	熊本県	12.9	18	滋賀県	12.0	18	宮城県	11.4	△ 0.5
19	熊本県	14.4	18	熊本県	13.7	19	北海道	12.8	18	兵庫県	12.0	19	熊本県	11.3	△ 0.7
20	福島県	14.3	20	福島県	13.6	20	兵庫県	12.7	18	福岡県	12.0	20	福井県	11.2	△ 0.5
21	広島県	14.3	20	香川県	13.6	21	福岡県	12.6	18	熊本県	12.0	20	兵庫県	11.2	△ 0.8
22	北海道	14.1	20	長崎県	13.6	21	長崎県	12.6	22	宮城県	11.9	22	愛媛県	11.1	△ 0.5
23	宮崎県	14.0	23	山口県	13.4	23	山口県	12.5	23	山口県	11.8	22	福岡県	11.1	△ 0.9
24	兵庫県	13.9	23	愛媛県	13.4	23	宮崎県	12.5	24	北海道	11.7	24	山口県	11.0	△ 0.8
25	山口県	13.8	23	宮崎県	13.4	25	宮城県	12.4	24	福井県	11.7	25	北海道	10.7	△ 1.0
26	長崎県	13.8	26	兵庫県	13.3	25	福島県	12.4	26	愛媛県	11.6	25	滋賀県	10.7	△ 1.3
27	神奈川県	13.7	27	宮城県	13.0	27	京都府	12.3	26	長崎県	11.6	27	静岡県	10.6	△ 0.5
28	長野県	13.7	28	長野県	12.8	27	香川県	12.3	28	福島県	11.5	28	福島県	10.5	△ 1.0
29	鹿児島県	13.2	28	福岡県	12.8	29	愛媛県	12.2	28	宮崎県	11.5	28	宮崎県	10.5	△ 1.0
30	沖縄県	13.2	30	沖縄県	12.7	30	福井県	12.1	30	静岡県	11.1	30	長崎県	10.3	△ 1.3
31	宮城県	13.1	31	神奈川県	12.6	31	神奈川県	11.8	30	香川県	11.1	30	沖縄県	10.3	△ 0.7
32	福岡県	12.9	32	福井県	12.5	31	長野県	11.8	32	沖縄県	11.0	32	神奈川県	10.1	△ 0.7
33	茨城県	12.8	33	鹿児島県	12.4	31	沖縄県	11.8	33	神奈川県	10.8	32	香川県	10.1	△ 1.0
34	三重県	12.8	34	三重県	12.2	34	静岡県	11.6	33	長野県	10.8	34	三重県	10.0	△ 0.6
35	徳島県	12.8	34	京都府	12.2	35	三重県	11.5	35	三重県	10.6	35	茨城県	9.8	△ 0.6
36	福井県	12.7	34	徳島県	12.2	36	徳島県	11.3	36	鹿児島県	10.5	36	長野県	9.7	△ 1.1
37	静岡県	12.3	37	茨城県	12.0	36	鹿児島県	11.3	37	茨城県	10.4	36	鹿児島県	9.7	△ 0.8
38	京都府	12.0	37	静岡県	12.0	38	茨城県	11.1	38	徳島県	10.3	38	徳島県	9.5	△ 0.8
39	群馬県	11.6	39	大分県	11.3	39	大分県	10.5	39	大分県	9.8	39	大分県	9.0	△ 0.8
40	大分県	11.6	40	群馬県	11.0	40	群馬県	10.3	40	群馬県	9.6	40	群馬県	8.8	△ 0.8
41	千葉県	11.1	41	千葉県	10.7	41	千葉県	10.2	41	千葉県	9.5	40	千葉県	8.8	△ 0.7
42	栃木県	11.0	42	栃木県	10.3	42	岐阜県	9.6	42	栃木県	8.7	42	栃木県	8.1	△ 0.6
43	岐阜県	10.7	42	岐阜県	10.3	43	栃木県	9.4	42	岐阜県	8.7	43	岐阜県	7.8	△ 0.9
44	埼玉県	9.7	44	埼玉県	9.1	44	埼玉県	8.2	44	大阪府	7.9	44	大阪府	7.5	△ 0.4
45	愛知県	8.6	45	大阪府	8.3	45	大阪府	8.1	45	埼玉県	7.3	45	愛知県	7.0	△ 0.2
46	大阪府	8.5	46	愛知県	8.0	46	愛知県	7.5	46	愛知県	7.2	46	埼玉県	6.6	△ 0.7
47	東京都	4.0	47	東京都	2.7	47	東京都	1.5	47	東京都	0.6	47	東京都	0.0	△ 0.6

全国平均	11.8	全国平均	11.2	全国平均	10.5	全国平均	9.9	全国平均	9.2	△ 0.7
------	------	------	------	------	------	------	-----	------	-----	-------

平成24年度各都道府県の実質公債費比率(市町村平均)を前年度と比較しグラフ化すると、次のページのとおりとなります。

各都道府県の実質公債費比率(市町村平均)の対前年度比較

県内市町村平均が0.9ポイント改善した結果、全国平均との差は縮小してきているものの、依然として全国平均を上回っています。改善の主な要因は、地域総合整備事業債等、地方債償還額の減少です。



県内市町村の実質公債費比率のワースト順位

前年度より改善した団体は35団体、悪化した団体は4団体です。

(単位：%、位)

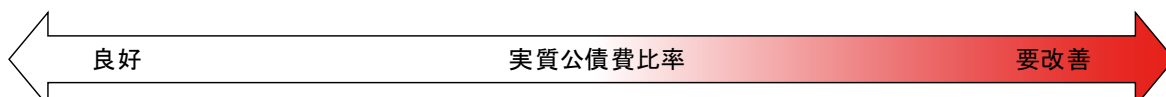
	県内 順位	市町村名	24年度		23年度		対前年度 比率の増減 (A-B)
			比率(A)	全国順位	比率(B)	全国順位	
要改善 要治療 全国平均 以上	1	香芝市	21.3	1,734	22.1	1,732	△ 0.8
	2	宇陀市	18.6	1,701	19.4	1,692	△ 0.8
	3	山添村	16.9	1,641	18.7	1,669	△ 1.8
	4	曾爾村	16.8	1,635	19.5	1,696	△ 2.7
	5	河合町	16.7	1,628	17.8	1,624	△ 1.1
	6	明日香村	16.5	1,612	17.7	1,615	△ 1.2
	7	五條市	16.4	1,607	16.3	1,536	0.1
	8	上牧町	16.1	1,594	20.1	1,713	△ 4.0
	9	御所市	16.0	1,587	19.0	1,681	△ 3.0
	10	下市町	15.9	1,573	15.7	1,477	0.2
	11	下北山村	15.4	1,536	17.9	1,631	△ 2.5
	12	平群町	14.4	1,444	13.8	1,236	0.6
	13	高取町	14.2	1,413	14.6	1,346	△ 0.4
	14	広陵町	14.0	1,402	15.7	1,477	△ 1.7
	15	野迫川村	13.6	1,337	15.3	1,431	△ 1.7
	16	奈良市	13.5	1,322	14.0	1,270	△ 0.5
	17	東吉野村	13.4	1,314	15.9	1,498	△ 2.5
	18	大和高田市	13.2	1,284	14.7	1,363	△ 1.5
	18	王寺町	13.2	1,284	15.7	1,477	△ 2.5
	20	川西町	11.6	1,029	16.1	1,519	△ 4.5
	21	大和郡山市	11.1	942	11.5	859	△ 0.4
	22	吉野町	10.9	910	12.3	982	△ 1.4
	23	天理市	10.8	888	10.5	684	0.3
	24	御杖村	10.6	859	12.4	1,004	△ 1.8
	25	桜井市	10.5	845	11.6	878	△ 1.1
	26	天川村	10.4	826	11.9	929	△ 1.5
	26	上北山村	10.4	826	12.6	1,033	△ 2.2
	28	橿原市	9.7	717	10.0	610	△ 0.3
	29	黒滝村	9.2	632	11.6	878	△ 2.4
健康 全国平均 未満	30	葛城市	8.6	556	10.1	629	△ 1.5
	31	田原本町	8.3	515	10.1	629	△ 1.8
	32	安堵町	7.7	447	10.1	629	△ 2.4
	33	大淀町	7.4	410	8.1	387	△ 0.7
	34	斑鳩町	7.1	381	7.4	322	△ 0.3
	34	三宅町	7.1	381	10.8	737	△ 3.7
	36	川上村	7.0	366	8.4	417	△ 1.4
	37	十津川村	5.7	259	6.1	223	△ 0.4
	38	三郷町	5.0	204	6.7	263	△ 1.7
	39	生駒市	4.7	180	4.8	142	△ 0.1
全国平均・市区町村数			9.2	1,742	9.9	1,742	△ 0.7

※比率は、3ヶ年の単年度比率を単純平均したものです。

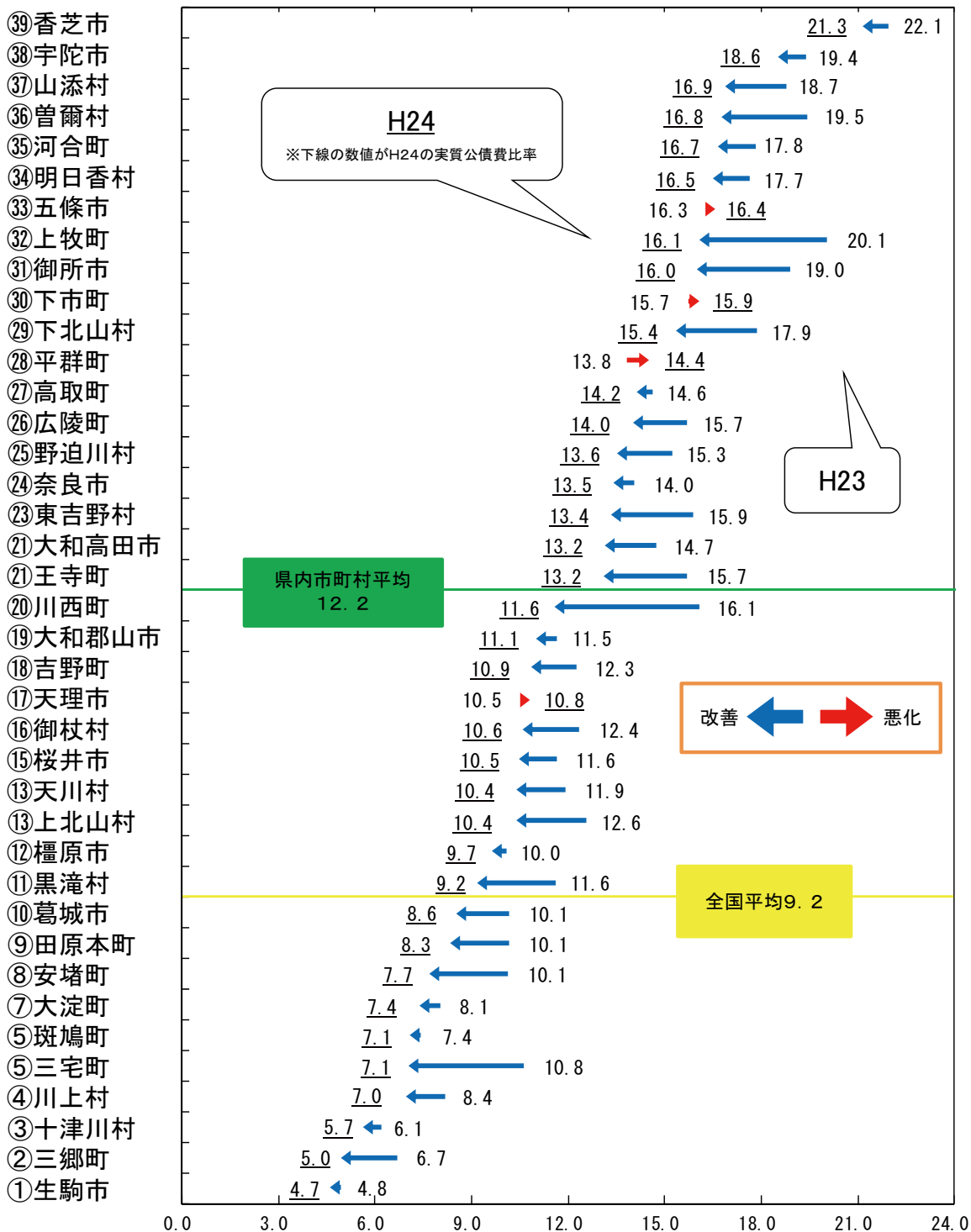
平成24年度県内市町村の実質公債費比率を前年度と比較しグラフ化すると、次のページのとおりとなります。また、全国順位をグラフ化すると、31ページのとおりとなります。

県内市町村の実質公債費比率の対前年度比較

川西町、上牧町などの改善ポイントが大きく、一方、平群町、天理市などの悪化ポイントが大きくなっています。

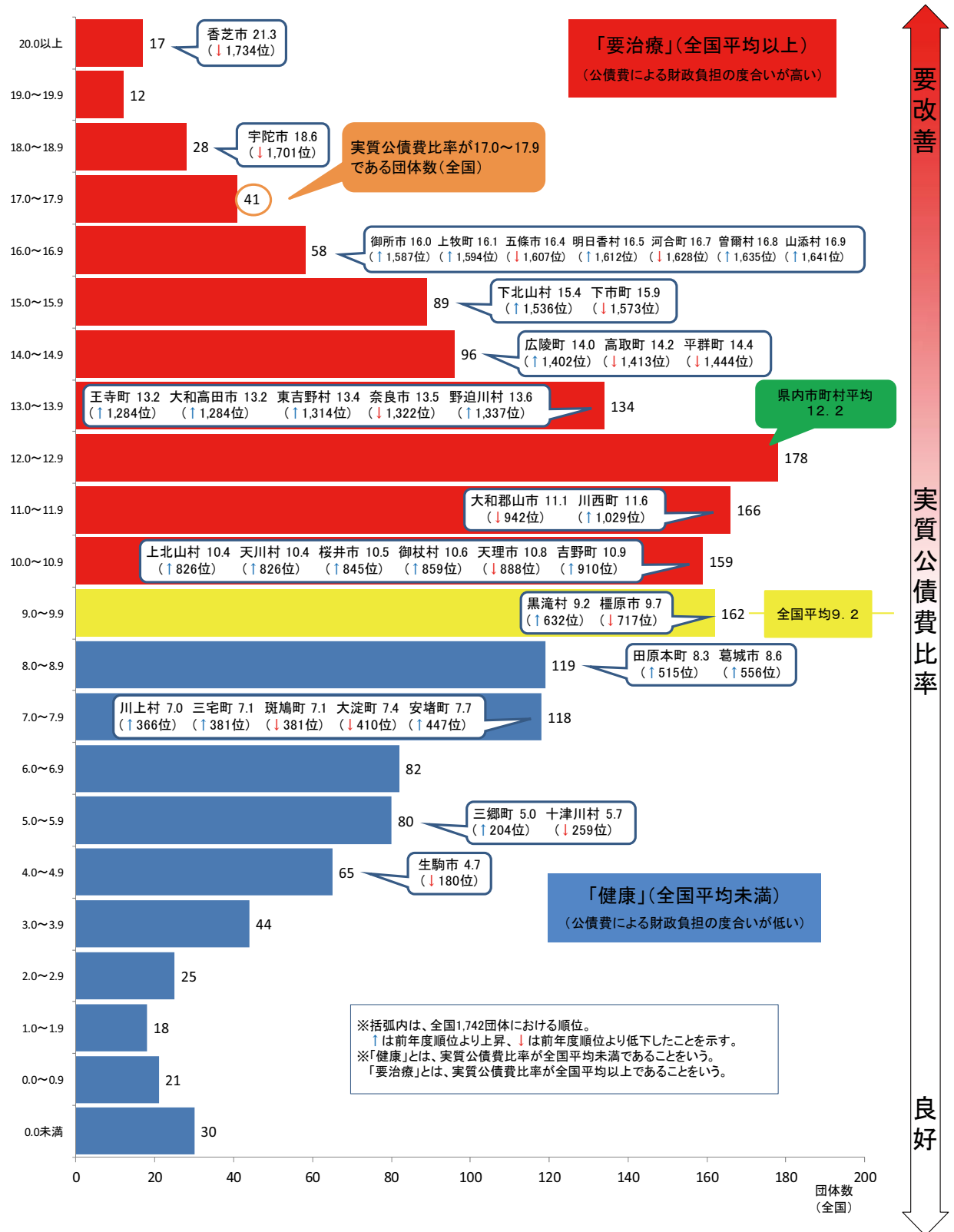


※○内の数字は、県内順位



平成24年度全国市区町村における県内市町村の実質公債費比率の状況

全国1,742団体と比較すると、香芝市、宇陀市などの順位が低く、生駒市、十津川村、三郷町などの順位が高くなっています。



県内市町村の実質公債費比率の推移

平成24年度において25%以上(「重症」)の団体はありません。また、全国平均未満(「健康」)の団体が4団体増加し、10団体になりました。

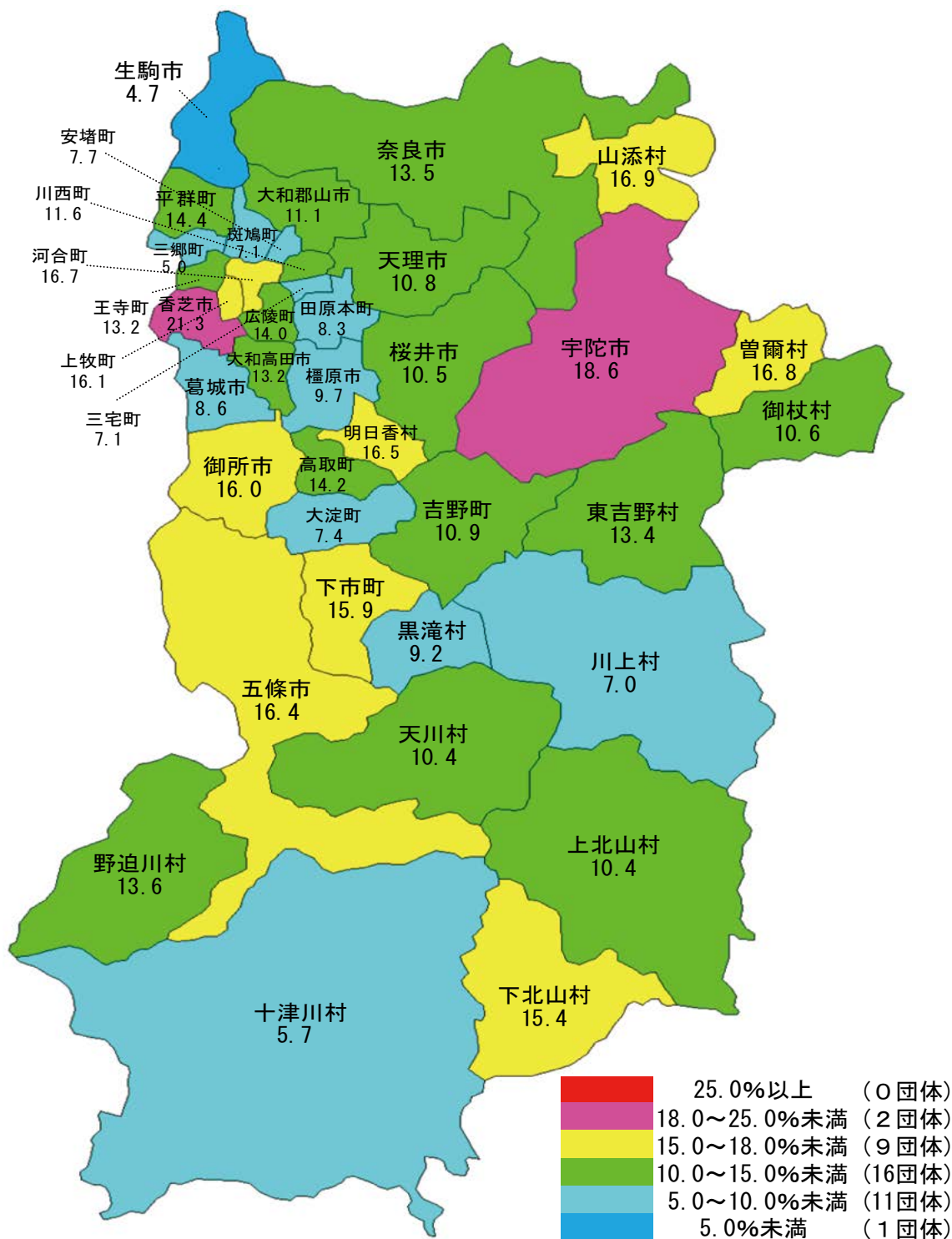
(単位：%)

健康状態	20年度		21年度		22年度		23年度		24年度	
重症 25%以上	上牧町	26.4	上牧町	26.8	上牧町	23.8	香芝市	22.1	香芝市	21.3
	御所市	25.8	御所市	25.6	香芝市	22.6	上牧町	20.1	宇陀市	18.6
要治療 全国平均以上	山添村	24.6	山添村	23.0	御所市	22.4	曾爾村	19.5	山添村	16.9
	東吉野村	22.6	香芝市	22.2	宇陀市	21.1	宇陀市	19.4	曾爾村	16.8
	明日香村	22.2	宇陀市	21.3	山添村	20.6	御所市	19.0	河合町	16.7
	香芝市	21.6	川西町	21.1	曾爾村	20.6	山添村	18.7	明日香村	16.5
	宇陀市	21.5	明日香村	20.8	明日香村	19.0	下北山村	17.9	五條市	16.4
	広陵町	21.4	東吉野村	20.6	下北山村	19.0	河合町	17.8	上牧町	16.1
	曾爾村	21.0	曾爾村	20.5	川西町	18.9	明日香村	17.7	御所市	16.0
	野迫川村	21.0	広陵町	20.3	東吉野村	18.1	五條市	16.3	下市町	15.9
	川西町	20.8	五條市	18.9	広陵町	18.0	川西町	16.1	下北山村	15.4
	五條市	20.1	下北山村	18.9	河合町	17.9	東吉野村	15.9	平群町	14.4
	大和高田市	19.7	野迫川村	18.4	五條市	17.0	王寺町	15.7	高取町	14.2
	三宅町	19.6	大和高田市	18.3	王寺町	16.9	広陵町	15.7	広陵町	14.0
	高取町	19.0	王寺町	17.9	大和高田市	16.3	下市町	15.7	野迫川村	13.6
	下北山村	18.9	三宅町	17.3	下市町	16.3	野迫川村	15.3	奈良市	13.5
	黒滝村	18.5	河合町	17.1	野迫川村	15.8	大和高田市	14.7	東吉野村	13.4
	王寺町	17.6	下市町	16.8	三宅町	15.1	高取町	14.6	大和高田市	13.2
	桜井市	17.3	高取町	16.7	高取町	14.7	奈良市	14.0	王寺町	13.2
	下市町	16.8	黒滝村	16.5	上北山村	14.5	平群町	13.8	川西町	11.6
	上北山村	16.2	上北山村	15.5	奈良市	14.1	上北山村	12.6	大和郡山市	11.1
	吉野町	15.4	桜井市	15.4	御杖村	13.9	御杖村	12.4	吉野町	10.9
	御杖村	15.0	御杖村	14.9	黒滝村	13.7	吉野町	12.3	天理市	10.8
	河合町	14.3	奈良市	13.9	桜井市	13.3	天川村	11.9	御杖村	10.6
	葛城市	13.9	吉野町	13.6	吉野町	12.5	桜井市	11.6	桜井市	10.5
	安堵町	13.8	天川村	13.1	天川村	12.5	黒滝村	11.6	天川村	10.4
	天川村	13.8	葛城市	12.9	平群町	12.1	大和郡山市	11.5	上北山村	10.4
	奈良市	13.3	安堵町	12.5	大和郡山市	11.8	三宅町	10.8	橿原市	9.7
	大淀町	13.3	大和郡山市	12.1	葛城市	11.5	天理市	10.5	黒滝村	9.2
	大和郡山市	12.7	田原本町	12.1	田原本町	11.4	葛城市	10.1	葛城市	8.6
	橿原市	12.3	平群町	11.7	安堵町	11.2	安堵町	10.1	田原本町	8.3
	三郷町	12.0	橿原市	11.5	橿原市	10.6	田原本町	10.1	安堵町	7.7
田原本町	11.8	三郷町	10.2	天理市	9.8	橿原市	10.0	大淀町	7.4	
健康 全国平均未満	平群町	11.1	大淀町	10.0	大淀町	8.8	川上村	8.4	斑鳩町	7.1
	斑鳩町	11.0	天理市	9.5	川上村	8.6	大淀町	8.1	三宅町	7.1
	川上村	9.3	斑鳩町	8.7	三郷町	8.4	斑鳩町	7.4	川上村	7.0
	天理市	9.2	十津川村	8.2	斑鳩町	7.7	三郷町	6.7	十津川村	5.7
	十津川村	8.9	川上村	8.0	十津川村	7.1	十津川村	6.1	三郷町	5.0
	生駒市	5.0	生駒市	5.0	生駒市	4.5	生駒市	4.8	生駒市	4.7
県平均	14.8	県平均	14.5	県平均	13.8	県平均	13.1	県平均	12.2	
全国平均	11.8	全国平均	11.2	全国平均	10.5	全国平均	9.9	全国平均	9.2	

平成24年度県内市町村の実質公債費比率の状況(地図)

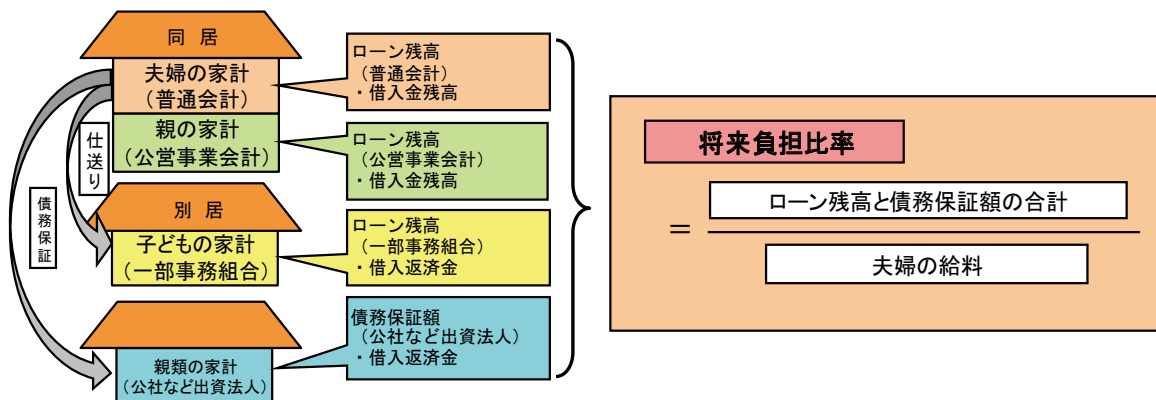
平成24年度県内市町村の実質公債費比率を地図で表すと以下のとおりとなります。

香芝市、宇陀市が18%以上と特に高く、生駒市、三郷町など12団体が10%未満と特に低くなっています。



3-2.ローン残高や保証額は大きすぎないか(将来負担比率)

借入れや保証などのいわゆる負債総額としては、夫婦(普通会計)と親(公営事業会計)と別居の子ども(一部事務組合等)のローン残高(地方債残高)に加え、親類(市町村が出資する法人等)への債務保証額を合算することが必要です。負債の規模を表す「将来負担比率」が大きいほど、夫婦の家計(普通会計)にとって苦しい状況が長く続くことがわかります。



県内市町村の将来負担比率の状況

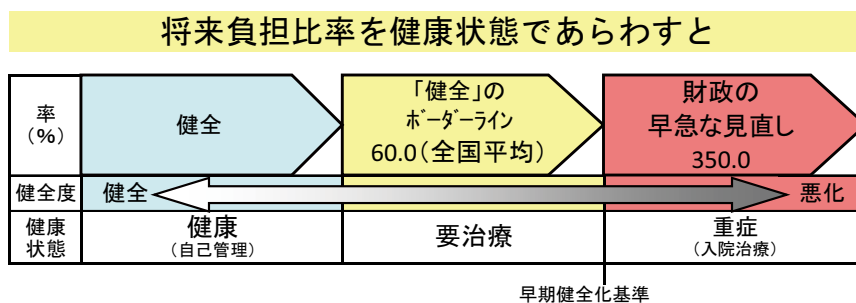
県内市町村平均 109.5%

・対前年度比 12.3ポイント改善 ・全国平均 ㊤60.0%

参考 地方公共団体財政健全化法に基づく「将来負担比率」

平成24年度決算では、重症(早期健全化基準以上)になった団体はありません(P37)。

●全国平均以上(要治療)の県内市町村…17団体



各都道府県の将来負担比率(市町村平均)のワースト順位

前年度より12.3ポイント改善し、県内市町村平均は109.5%になりました。また、全国順位はワースト7位で、前年度と順位の変動はありません。

(単位：%、位)

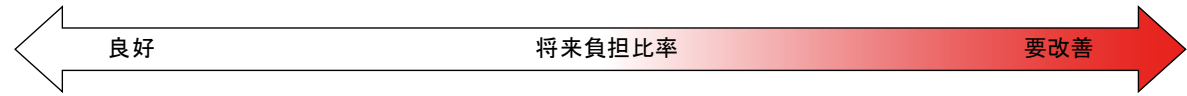
順位	H22年度		順位	H23年度		順位	H24年度		H24-H23 比率の増減
1	島根県	172.6	1	京都府	164.8	1	京都府	161.0	△ 3.8
2	京都府	167.1	2	島根県	164.3	2	島根県	152.2	△ 12.1
3	広島県	154.7	3	広島県	144.2	3	広島県	136.3	△ 7.9
4	富山県	151.1	4	富山県	142.6	4	富山県	125.8	△ 16.8
5	神奈川県	138.9	5	神奈川県	127.1	5	神奈川県	120.5	△ 6.6
6	青森県	136.9	6	青森県	124.4	6	青森県	111.9	△ 12.5
7	奈良県	133.1	7	奈良県	121.8	7	奈良県	109.5	△ 12.3
8	兵庫県	127.7	8	石川県	115.8	8	新潟県	109.1	△ 3.9
9	石川県	125.6	9	鳥取県	113.3	9	石川県	103.0	△ 12.8
10	鳥取県	122.9	10	新潟県	113.0	10	鳥取県	99.3	△ 14.0
11	岩手県	119.0	11	兵庫県	111.6	11	秋田県	96.4	△ 11.6
12	大阪府	118.9	12	秋田県	108.0	12	福岡県	96.0	△ 7.8
13	新潟県	116.1	13	福岡県	103.8	13	兵庫県	93.9	△ 17.7
14	秋田県	115.2	14	岩手県	102.9	14	和歌山県	92.3	△ 7.1
15	福岡県	113.9	14	大阪府	102.9	15	大阪府	87.4	△ 15.5
16	宮城県	108.0	16	和歌山県	99.4	16	岩手県	82.7	△ 20.2
17	高知県	107.7	17	宮城県	94.8	17	山形県	81.2	△ 8.0
18	和歌山県	105.1	18	山形県	89.2	18	宮城県	76.4	△ 18.4
19	岡山県	99.7	19	北海道	87.2	19	北海道	75.1	△ 12.1
20	山形県	99.4	20	高知県	86.9	20	岡山県	72.6	△ 12.7
21	北海道	97.5	21	岡山県	85.3	21	熊本県	72.5	△ 6.3
22	山口県	95.5	22	熊本県	78.8	22	高知県	71.1	△ 15.8
23	熊本県	89.9	23	千葉県	77.3	23	山口県	69.6	△ 6.5
24	千葉県	87.3	24	山口県	76.1	24	千葉県	68.6	△ 8.7
25	愛知県	83.2	25	福井県	74.7	25	福井県	66.1	△ 8.6
26	愛媛県	82.1	26	愛知県	71.9	26	愛知県	64.2	△ 7.7
27	福井県	81.6	27	愛媛県	70.3	27	沖縄県	63.7	△ 5.7
28	沖縄県	78.3	28	沖縄県	69.4	28	愛媛県	61.3	△ 9.0
29	宮崎県	77.3	29	山梨県	66.7	29	山梨県	57.1	△ 9.6
30	山梨県	77.0	30	静岡県	65.9	30	静岡県	55.5	△ 10.4
31	香川県	76.8	30	宮崎県	65.9	31	香川県	55.3	△ 8.8
32	福島県	76.4	32	香川県	64.1	32	茨城県	54.9	△ 8.7
32	三重県	76.4	33	茨城県	63.6	33	宮崎県	53.2	△ 12.7
34	静岡県	75.8	34	福島県	55.2	34	三重県	45.0	△ 10.1
35	滋賀県	73.9	35	三重県	55.1	34	鹿児島県	45.0	△ 4.3
36	茨城県	73.7	36	群馬県	54.3	36	長崎県	44.2	△ 7.5
37	群馬県	67.9	37	長崎県	51.7	37	群馬県	43.7	△ 10.6
38	長崎県	62.8	38	埼玉県	50.3	38	埼玉県	41.4	△ 8.9
39	埼玉県	61.0	39	鹿児島県	49.3	39	福島県	40.3	△ 14.9
40	鹿児島県	60.2	40	滋賀県	48.2	40	佐賀県	35.6	△ 7.9
41	大分県	55.3	41	佐賀県	43.5	40	大分県	35.6	△ 7.3
42	佐賀県	52.0	42	大分県	42.9	42	滋賀県	35.1	△ 13.1
43	栃木県	43.7	43	栃木県	35.4	43	栃木県	27.7	△ 7.7
44	長野県	40.9	44	徳島県	29.1	44	長野県	21.0	△ 6.8
45	徳島県	40.3	45	長野県	27.8	45	徳島県	20.1	△ 9.0
46	岐阜県	25.8	46	岐阜県	10.3	46	東京都	—*	—
47	東京都	—*	47	東京都	—*	46	岐阜県	—*	△ 10.3
	全国平均	79.7		全国平均	69.2		全国平均	60.0	△ 9.2

※ 表中の「—」は、0.0未満を示す。

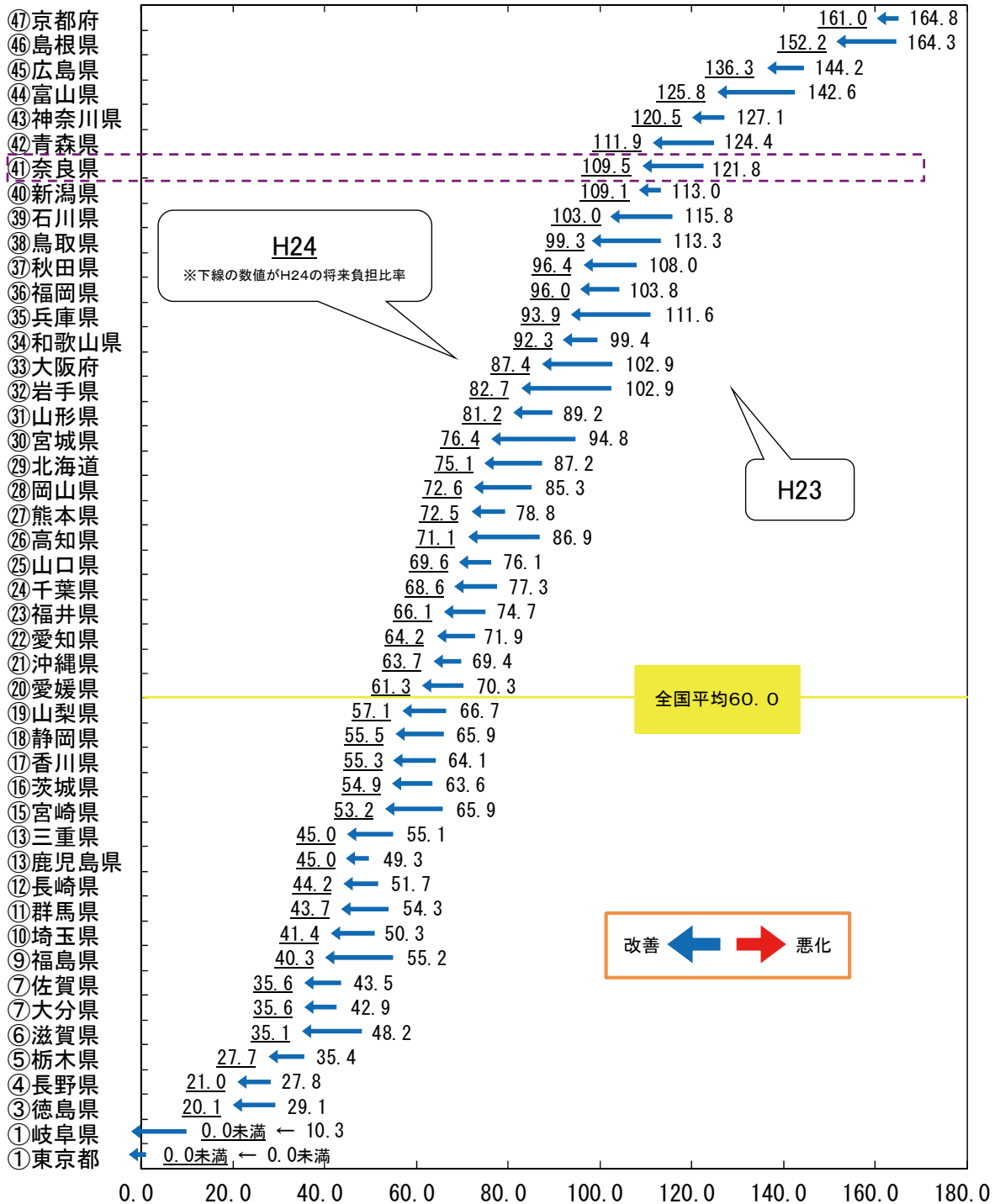
平成24年度の各都道府県の将来負担比率(市町村平均)を前年度と比較しグラフ化すると、次のページのとおりとなります。

各都道府県の将来負担比率(市町村平均)の対前年度比較

県内市町村平均が12.3ポイント改善した結果、全国平均との差は縮小してきているものの、依然として全国平均を上回っています。改善の主な要因は、公営住宅建設事業債などの地方債現在高の減少です。



※○内の数字は、全国順位



県内市町村の将来負担比率のワースト順位

前年度より改善した団体は34団体、悪化した団体は5団体です。また、将来負担比率がマイナス(将来負担額に対し、充当可能な財源が超過)の団体は14団体となりました。

(単位：％、位)

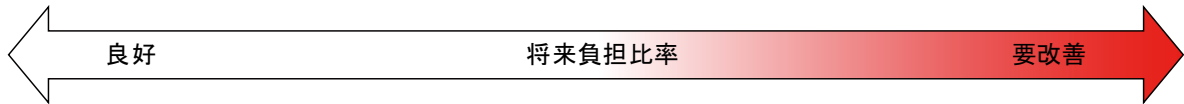
	県内順位	市町村名	24年度		23年度		対前年度比率の増減(A-B)
			比率(A)	全国順位	比率(B)	全国順位	
要治療 全国平均以上	1	河合町	249.1	1,735	253.8	1,733	△ 4.7
	2	平群町	235.6	1,730	211.9	1,718	23.7
	3	上牧町	207.2	1,721	226.9	1,723	△ 19.7
	4	奈良市	196.5	1,715	204.0	1,715	△ 7.5
	5	宇陀市	192.0	1,712	197.6	1,707	△ 5.6
	6	香芝市	191.6	1,710	218.1	1,720	△ 26.5
	7	御所市	164.7	1,683	195.0	1,704	△ 30.3
	8	高取町	153.8	1,659	168.8	1,675	△ 15.0
	9	五條市	137.2	1,616	162.4	1,657	△ 25.2
	10	大和郡山市	126.4	1,566	151.0	1,624	△ 24.6
	11	下市町	118.7	1,544	120.6	1,511	△ 1.9
	12	桜井市	109.0	1,493	109.6	1,444	△ 0.6
	13	天理市	102.4	1,461	104.5	1,414	△ 2.1
	14	大和高田市	100.9	1,454	112.9	1,463	△ 12.0
	15	広陵町	97.0	1,429	113.8	1,471	△ 16.8
	16	橿原市	96.5	1,426	105.5	1,422	△ 9.0
	17	吉野町	89.7	1,358	97.8	1,352	△ 8.1
健康 全国平均未満	18	東吉野村	59.1	1,065	62.5	986	△ 3.4
	19	田原本町	51.8	966	63.2	991	△ 11.4
	20	葛城市	48.3	930	65.1	1,012	△ 16.8
	21	明日香村	45.4	901	44.6	783	0.8
	22	三宅町	41.6	859	39.4	723	2.2
	23	天川村	35.6	796	78.7	1,157	△ 43.1
	24	斑鳩町	21.8	670	17.9	549	3.9
	25	曾爾村	4.7	528	13.9	513	△ 9.2
	26	野迫川村	△ 0.3	-	57.1	928	△ 57.4
	27	三郷町	△ 5.6	-	△ 16.1	-	10.5
	28	山添村	△ 7.6	-	14.6	514	△ 22.2
	29	安堵町	△ 9.4	-	1.4	418	△ 10.8
	30	川西町	△ 14.3	-	5.5	442	△ 19.8
	31	大淀町	△ 27.0	-	△ 18.5	-	△ 8.5
	32	上北山村	△ 31.9	-	4.8	439	△ 36.7
	33	十津川村	△ 32.7	-	△ 18.8	-	△ 13.9
	34	黒滝村	△ 43.0	-	△ 21.4	-	△ 21.6
	35	王寺町	△ 43.2	-	△ 14.0	-	△ 29.2
	36	生駒市	△ 64.5	-	△ 53.0	-	△ 11.5
	37	御杖村	△ 94.3	-	△ 63.0	-	△ 31.3
	38	下北山村	△ 130.8	-	△ 115.7	-	△ 15.1
	39	川上村	△ 316.0	-	△ 310.8	-	△ 5.2
県内市町村平均			109.5		121.8		△ 12.3
全国平均・市区町村数			60.0	1,742	69.2	1,742	△ 9.2

※早期健全化基準は350%です。

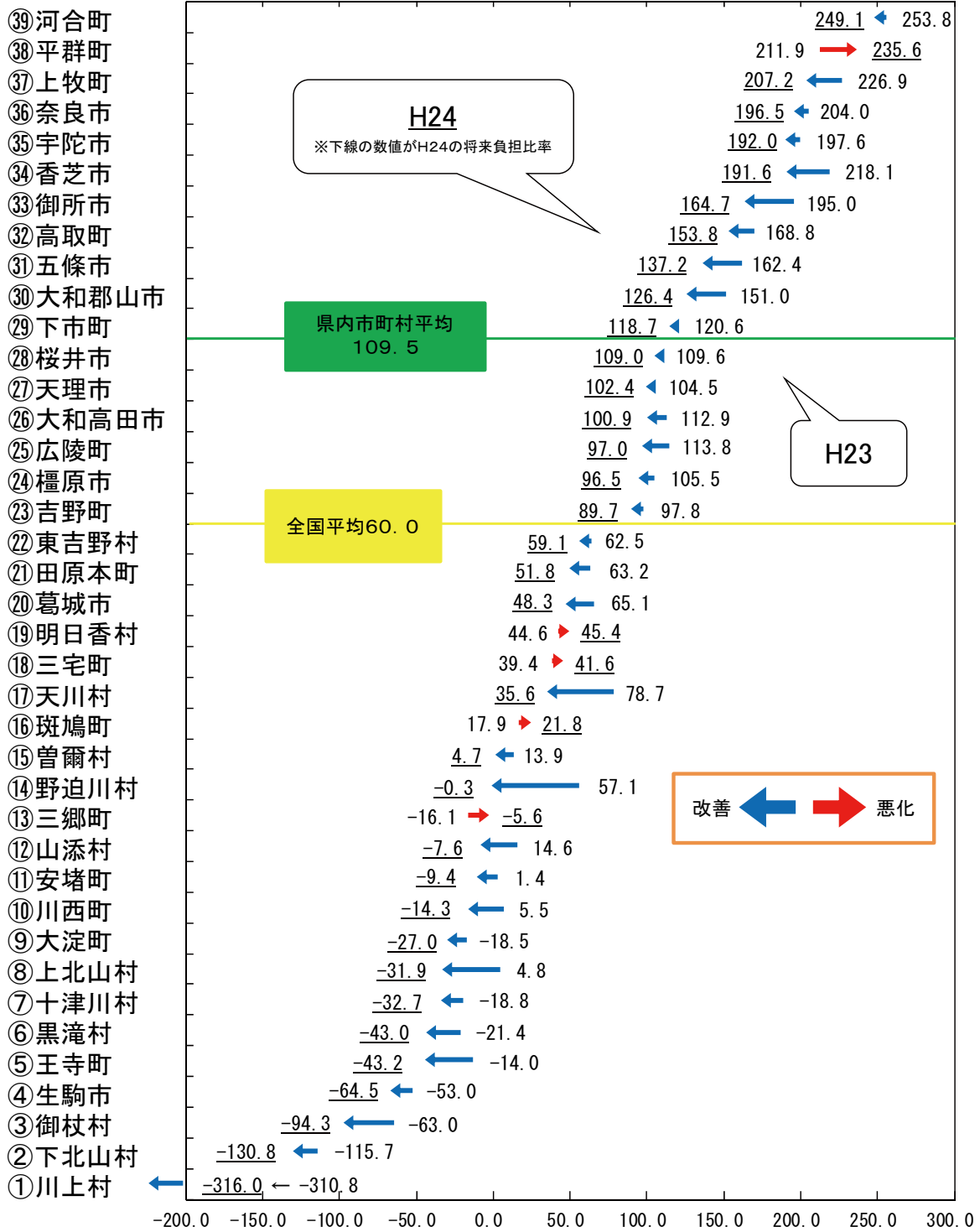
平成24年度県内市町村の将来負担比率を前年度と比較しグラフ化すると、次ページのとおりとなります。また、全国順位をグラフ化すると、39ページのとおりとなります。

県内市町村の将来負担比率の対前年度比較

野迫川村、天川村などの改善ポイントが大きく、一方、平群町、三郷町などの悪化ポイントが大きくなっています。

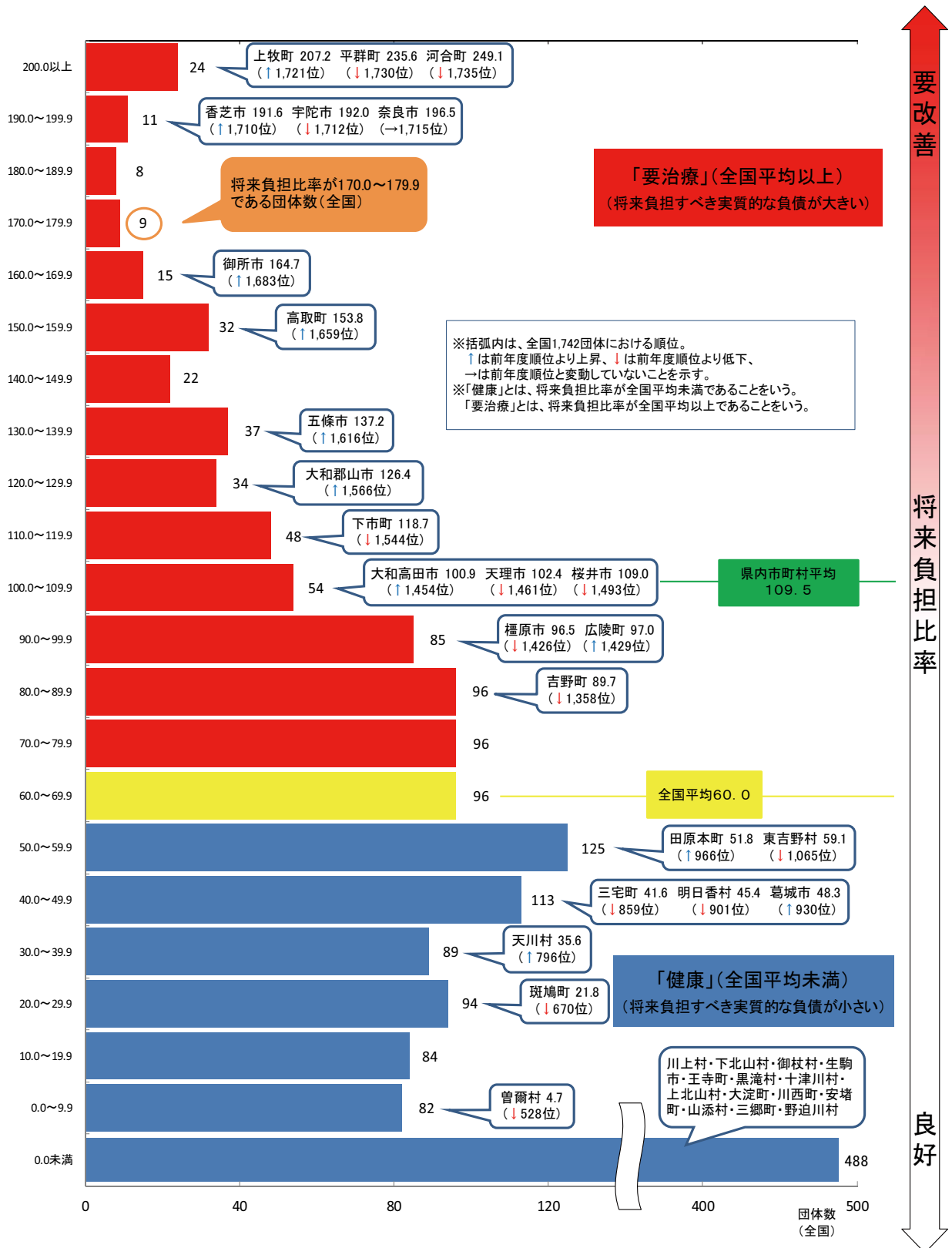


※○内の数字は、県内順位



平成24年度全国市区町村における県内市区町村の将来負担比率の状況

全国1,742団体と比較すると、河合町、平群町、上牧町などの順位が低く、川上村、下北山村、御杖村などの順位が高くなっています。



県内市町村の将来負担比率の推移

平成24年度において全国平均未満(「健康」)の団体が1団体増加し、22団体になりました。

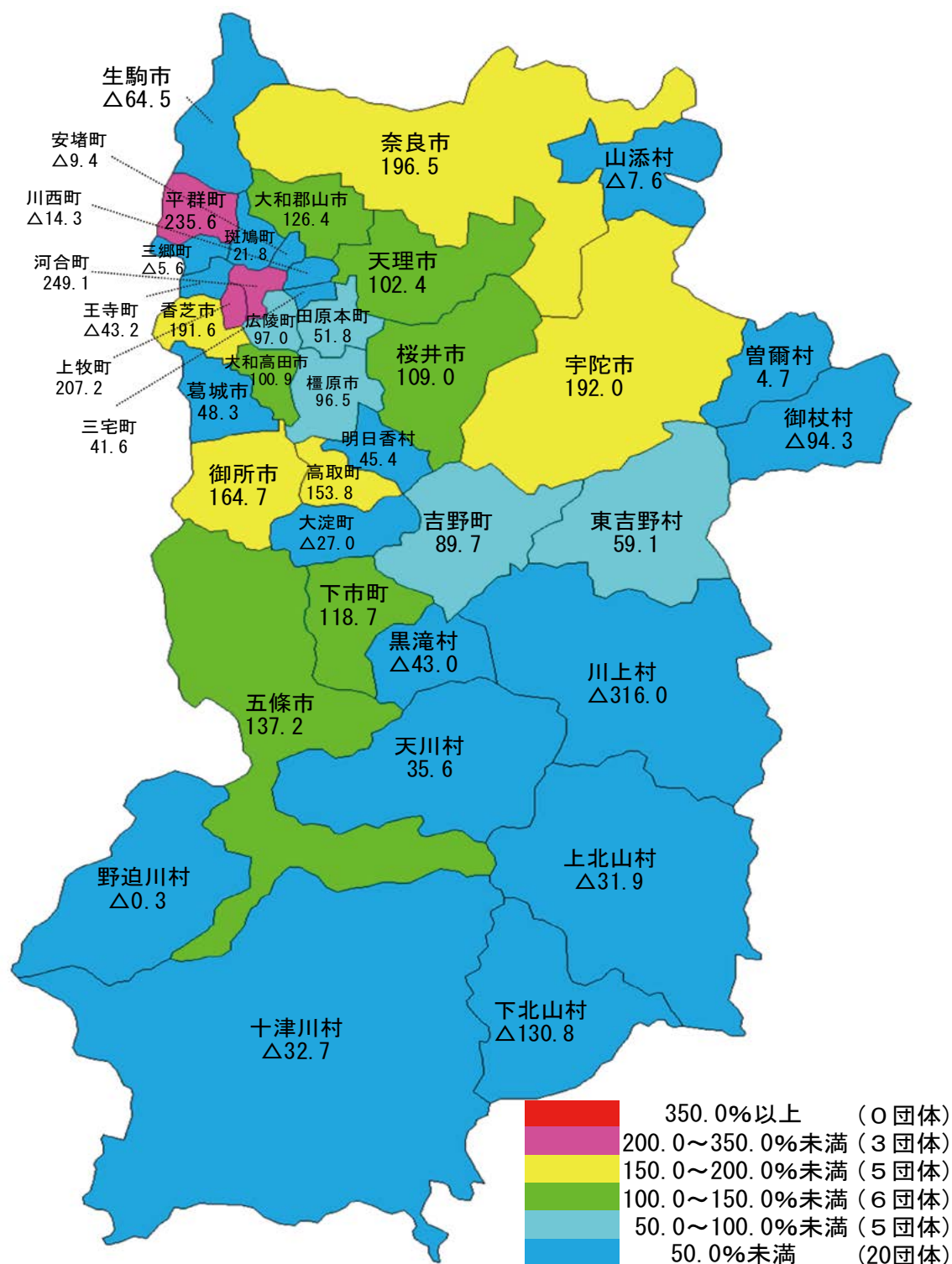
(単位：%)

健康状態	20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		
	要改善	上牧町	306.0	上牧町	273.0	河合町	257.7	河合町	253.8	河合町	249.1
要治療	御所市	292.3	河合町	271.8	上牧町	245.9	上牧町	226.9	平群町	235.6	
	香芝市	288.6	香芝市	263.2	香芝市	231.0	香芝市	218.1	上牧町	207.2	
	河合町	279.4	御所市	259.3	御所市	229.4	平群町	211.9	奈良市	196.5	
	高取町	251.8	平群町	249.5	平群町	225.2	奈良市	204.0	宇陀市	192.0	
	平群町	250.2	宇陀市	227.8	奈良市	209.4	宇陀市	197.6	香芝市	191.6	
	宇陀市	249.6	高取町	224.0	高取町	209.1	御所市	195.0	御所市	164.7	
	五條市	232.2	奈良市	213.9	宇陀市	198.1	高取町	168.8	高取町	153.8	
	奈良市	226.9	五條市	203.9	大和郡山市	174.2	五條市	162.4	五條市	137.2	
	大和郡山市	210.1	大和郡山市	191.9	五條市	170.1	大和郡山市	151.0	大和郡山市	126.4	
	桜井市	177.4	大和高田市	151.7	広陵町	133.1	下市町	120.6	下市町	118.7	
	大和高田市	176.3	桜井市	151.2	桜井市	126.8	広陵町	113.8	桜井市	109.0	
	全国平均以上	東吉野村	175.7	広陵町	149.7	大和高田市	122.0	大和高田市	112.9	天理市	102.4
	広陵町	173.8	下市町	143.1	下市町	120.2	桜井市	109.6	大和高田市	100.9	
	吉野町	164.2	吉野町	129.9	橿原市	108.4	橿原市	105.5	広陵町	97.0	
	下市町	149.3	東吉野村	125.3	吉野町	96.7	天理市	104.5	橿原市	96.5	
	橿原市	147.8	橿原市	122.3	天理市	95.1	吉野町	97.8	吉野町	89.7	
	三宅町	121.1	三宅町	102.9	三宅町	93.4	天川村	78.7	東吉野村	59.1	
	曾爾村	116.0	葛城市	94.2	東吉野村	85.6	葛城市	65.1	田原本町	51.8	
	野迫川村	110.7	天理市	88.1	葛城市	84.0	田原本町	63.2	葛城市	48.3	
	天川村	105.6	明日香村	86.3	田原本町	66.3	東吉野村	62.5	明日香村	45.4	
葛城市	102.6	天川村	82.6	明日香村	57.8	野迫川村	57.1	三宅町	41.6		
健康	山添村	96.7	田原本町	81.8	天川村	56.8	明日香村	44.6	天川村	35.6	
	明日香村	92.6	曾爾村	72.7	曾爾村	40.8	三宅町	39.4	斑鳩町	21.8	
	天理市	91.5	山添村	70.8	上北山村	37.1	斑鳩町	17.9	曾爾村	4.7	
	上北山村	86.2	野迫川村	62.4	山添村	32.1	山添村	14.6	野迫川村	△ 0.3	
	田原本町	84.7	上北山村	61.5	川西町	26.4	曾爾村	13.9	三郷町	△ 5.6	
	王寺町	55.6	川西町	43.4	野迫川村	17.6	川西町	5.5	山添村	△ 7.6	
	黒滝村	54.8	王寺町	43.1	斑鳩町	15.2	上北山村	4.8	安堵町	△ 9.4	
	川西町	50.0	黒滝村	25.4	王寺町	14.0	安堵町	1.4	川西町	△ 14.3	
	三郷町	39.4	斑鳩町	15.7	黒滝村	9.6	王寺町	△ 14.0	大淀町	△ 27.0	
	斑鳩町	29.5	三郷町	15.4	三郷町	△ 0.4	三郷町	△ 16.1	上北山村	△ 31.9	
	御杖村	18.5	安堵町	9.7	安堵町	△ 6.8	大淀町	△ 18.5	十津川村	△ 32.7	
	大淀町	14.4	大淀町	5.5	大淀町	△ 10.0	十津川村	△ 18.8	黒滝村	△ 43.0	
	安堵町	△ 4.5	御杖村	△ 1.2	生駒市	△ 31.5	黒滝村	△ 21.4	王寺町	△ 43.2	
	生駒市	△ 23.0	生駒市	△ 20.6	十津川村	△ 33.3	生駒市	△ 53.0	生駒市	△ 64.5	
	下北山村	△ 24.8	下北山村	△ 50.9	御杖村	△ 35.2	御杖村	△ 63.0	御杖村	△ 94.3	
	十津川村	△ 78.7	十津川村	△ 52.6	下北山村	△ 69.3	下北山村	△ 115.7	下北山村	△ 130.8	
	川上村	△ 88.3	川上村	△ 101.1	川上村	△ 100.8	川上村	△ 310.8	川上村	△ 316.0	
県平均	165.0	県平均	148.9	県平均	133.1	県平均	121.8	県平均	109.5		
全国平均	100.9	全国平均	92.8	全国平均	79.7	全国平均	69.2	全国平均	60.0		

平成24年度県内市町村の将来負担比率の状況(地図)

平成24年度県内市町村の将来負担比率を地図で表すと以下のとおりとなります。

河合町、平群町、上牧町が200%以上と特に高く、川上村、下北山村など20団体が50%未満と特に低くなっています。



4. 市町村税収の状況は？

県内市町村平均徴収率 92.8%

・対前年度比 0.7ポイント改善 ・全国 ㊤93.7%

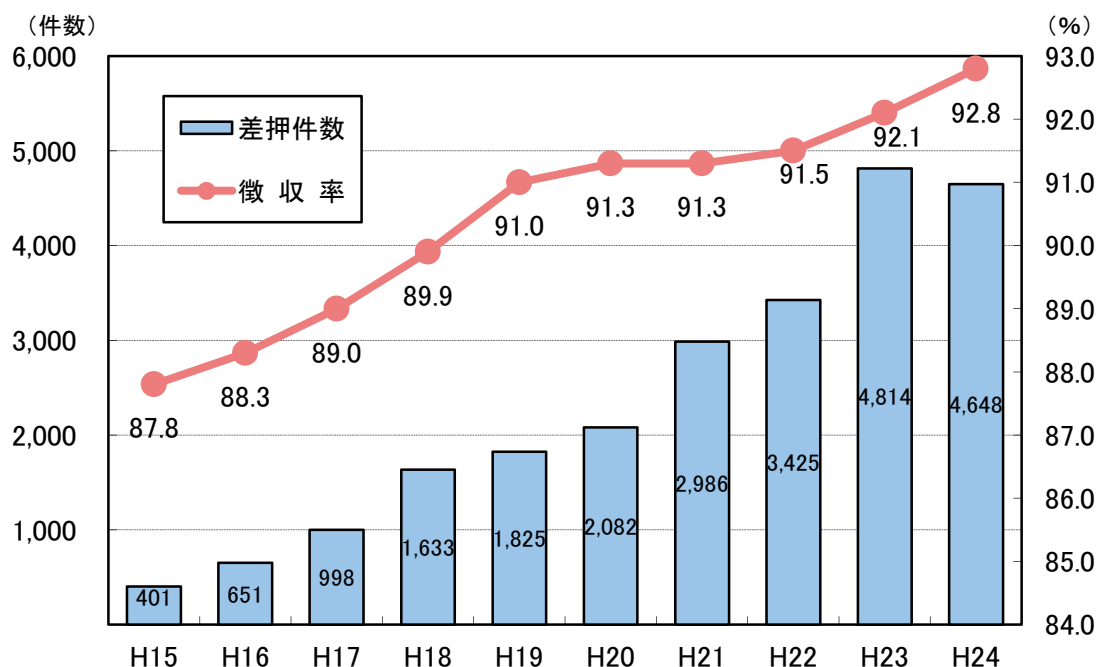
※「徴収率」とは、「収入額：実際に徴収した金額」を「調定額：徴収することを決定した金額」で割ったものです。

県内市町村の市町村税収の状況を見るポイントとしては、市町村税の徴収率があります。

財政状況を改善するためには、市町村税の徴収率を引き上げ、財源を確保することが重要です。

そのためには、資力がありながら税金を滞納する悪質な滞納者に対して、差押え等による毅然とした滞納処分を実施することが必要です。

差押件数と徴収率の推移



県内市町村の税徴収率ワースト順位の推移

県内市町村平均は改善傾向で推移しており、全国平均との差は縮小しつつあります。また、全国平均(H23決算:93.7%)以上の団体は15団体から3団体増加し18団体となりました。

(単位:%)

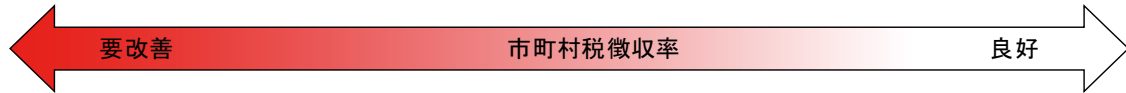
平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度		
全国平均93.6%			全国平均93.3%			全国平均93.3%			全国平均93.7%			全国平均 - %		
県内市町村平均91.3% [37/47位]			県内市町村平均91.3% [全国:33/47位]			県内市町村平均91.5% [全国:31/47位]			県内市町村平均92.1% [全国:30/47位]			県内市町村平均92.8% [全国:-/47位]		
全国平均との差 ▲2.3ポイント			全国平均との差 ▲2.0ポイント			全国平均との差 ▲1.8ポイント			全国平均との差 ▲1.6ポイント			全国平均との差 -		
県内順位	市町村名	徴収率(%)	県内順位	市町村名	徴収率(%)	県内順位	市町村名	徴収率(%)	県内順位	市町村名	徴収率(%)	県内順位	市町村名	徴収率(%)
1	御所市	83.8	1	平群町	84.9	1	平群町	85.6	1	平群町	86.0	1	下市町	88.8
2	平群町	84.9	2	御所市	85.6	2	宇陀市	88.6	2	下市町	89.5	2	三郷町	90.1
3	野迫川村	87.2	3	宇陀市	88.0	3	曽爾村	89.6	3	宇陀市	90.2	3	宇陀市	91.1
4	東吉野村	87.6	3	曽爾村	88.0	4	大和高田市	89.9	4	三郷町	90.4	4	大和高田市	91.4
5	曽爾村	88.5	5	大和高田市	88.9	5	生駒市	90.1	5	安堵町	90.6	4	生駒市	91.4
6	宇陀市	88.7	6	東吉野村	89.3	6	田原本町	90.2	6	生駒市	90.7	6	安堵町	91.5
6	上牧町	88.7	7	生駒市	89.8	6	下市町	90.2	7	上牧町	90.9	6	上牧町	91.5
8	生駒市	89.7	7	上牧町	89.8	8	御所市	90.5	8	大淀町	91.0	8	天理市	91.8
9	大和高田市	89.9	9	田原本町	90.2	9	上牧町	90.7	9	大和高田市	91.2	9	天川村	91.9
10	田原本町	90.1	10	大淀町	90.6	10	天理市	90.8	10	奈良市	91.3	10	大淀町	92.0
11	奈良市	90.8	11	野迫川村	90.8	10	大淀町	90.8	11	天理市	91.4	11	奈良市	92.2
12	天理市	91.0	12	奈良市	90.9	12	奈良市	90.9	12	御所市	91.6	11	野迫川村	92.2
13	大淀町	91.2	13	下市町	91.0	13	五條市	91.0	13	曽爾村	92.0	13	御所市	92.6
14	桜井市	91.4	14	天理市	91.3	13	安堵町	91.0	14	田原本町	92.1	14	五條市	92.9
15	葛城市	91.5	14	五條市	91.3	15	三郷町	91.1	15	五條市	92.3	14	曽爾村	92.9
16	下市町	91.6	16	香芝市	91.6	16	東吉野村	91.2	15	天川村	92.3	16	香芝市	93.1
17	香芝市	91.7	16	安堵町	91.6	17	桜井市	92.0	17	御杖村	92.5	16	田原本町	93.1
18	五條市	92.0	18	桜井市	91.7	17	香芝市	92.0	18	香芝市	92.7	18	大和郡山市	93.2
19	大和郡山市	92.2	19	三郷町	92.0	19	大和郡山市	92.7	19	橿原市	93.0	18	橿原市	93.2
19	三郷町	92.2	20	大和郡山市	92.1	19	吉野町	92.7	20	葛城市	93.2	18	葛城市	93.2
19	三宅町	92.2	21	葛城市	92.3	21	橿原市	92.9	21	大和郡山市	93.3	18	御杖村	93.2
22	安堵町	92.8	22	天川村	92.9	21	葛城市	92.9	22	野迫川村	93.4	22	吉野町	94.0
23	広陵町	93.0	23	橿原市	93.0	23	天川村	93.0	23	吉野町	93.6	23	高取町	94.1
24	橿原市	93.1	24	三宅町	93.2	24	御杖村	93.1	23	東吉野村	93.6	24	十津川村	94.2
25	河合町	93.6	24	御杖村	93.2	25	広陵町	93.7	25	桜井市	94.0	25	東吉野村	94.9
26	御杖村	93.8	26	広陵町	93.3	26	高取町	94.2	26	高取町	94.2	26	広陵町	95.2
26	黒滝村	93.8	27	吉野町	93.5	27	三宅町	94.3	27	広陵町	94.6	27	河合町	95.3
28	高取町	94.0	28	河合町	93.9	27	河合町	94.3	28	十津川村	95.0	28	桜井市	95.5
29	吉野町	94.3	29	高取町	94.9	29	川西町	94.9	29	河合町	95.2	29	斑鳩町	95.6
30	天川村	94.8	30	斑鳩町	95.3	30	斑鳩町	95.5	30	川西町	95.3	30	川上村	95.8
31	斑鳩町	95.5	31	川西町	95.5	31	十津川村	95.6	31	斑鳩町	95.5	31	川西町	96.0
32	川西町	95.6	32	黒滝村	95.9	32	野迫川村	95.9	32	川上村	96.1	32	平群町	96.8
33	川上村	96.2	33	十津川村	96.1	33	黒滝村	96.3	33	三宅町	96.5	33	明日香村	97.3
34	十津川村	96.3	34	川上村	96.5	34	川上村	96.5	34	黒滝村	96.8	34	黒滝村	97.5
35	山添村	97.1	35	山添村	97.3	35	山添村	97.8	35	明日香村	97.8	35	三宅町	98.0
36	王寺町	97.8	36	王寺町	98.1	36	王寺町	98.1	36	上北山村	98.3	36	上北山村	98.1
37	上北山村	98.9	37	上北山村	98.5	37	明日香村	98.2	37	山添村	98.4	37	山添村	98.2
38	明日香村	99.0	38	明日香村	98.8	38	上北山村	98.7	37	王寺町	98.4	38	下北山村	98.4
39	下北山村	99.5	39	下北山村	99.3	39	下北山村	99.1	39	下北山村	98.8	39	王寺町	98.5

※平成24年度の全国平均は、平成26年3月に総務省から公表される予定のため、平成23年度の全国平均93.7%以上に着色。【出典:地方財政状況調査】

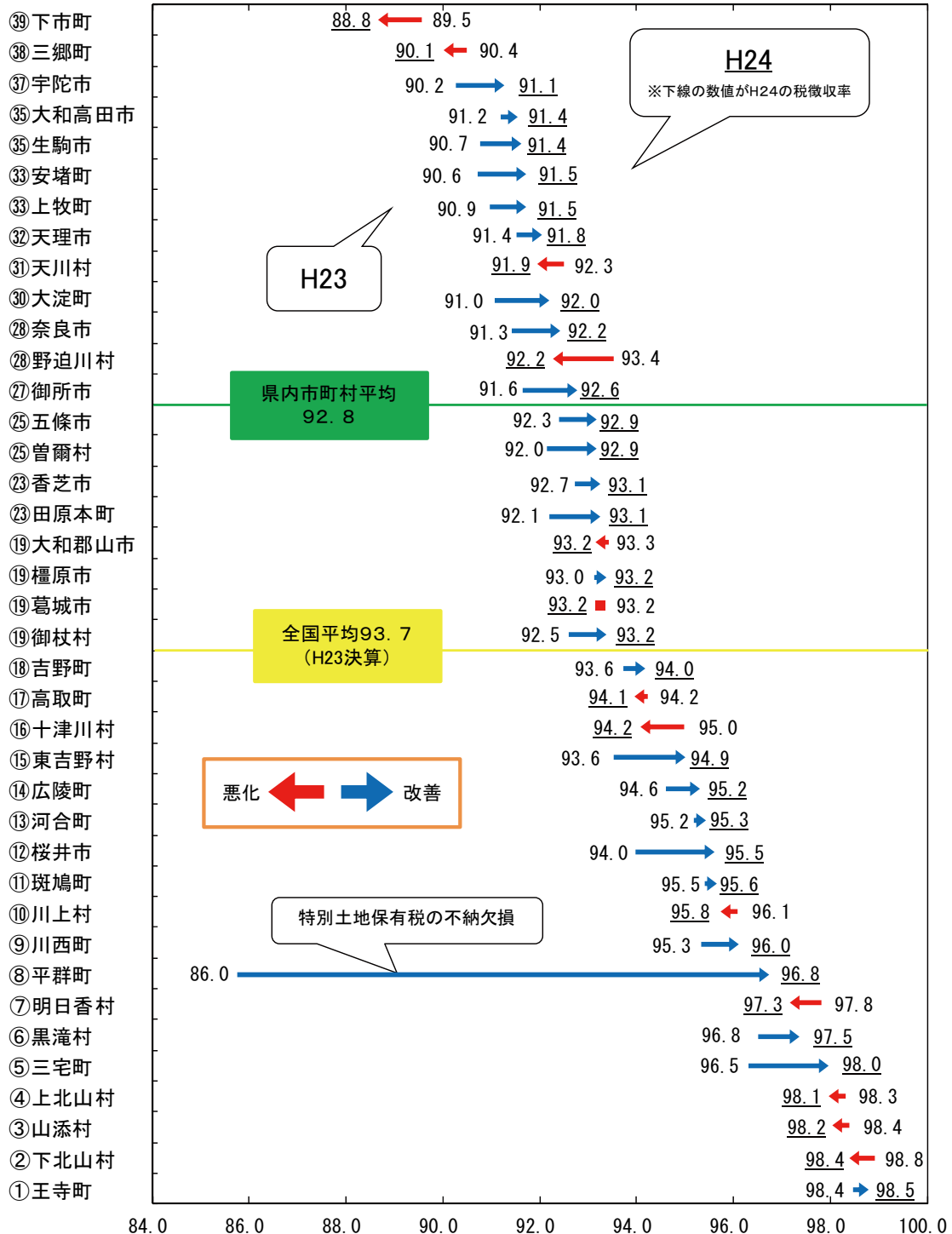
平成24年度県内市町村の市町村税徴収率を前年度と比較しグラフ化すると、次ページのとおりとなります。

県内市町村の税徴収率の対前年度比較

前年度より改善した団体は26団体、悪化した団体は12団体、変動なしが1団体です。



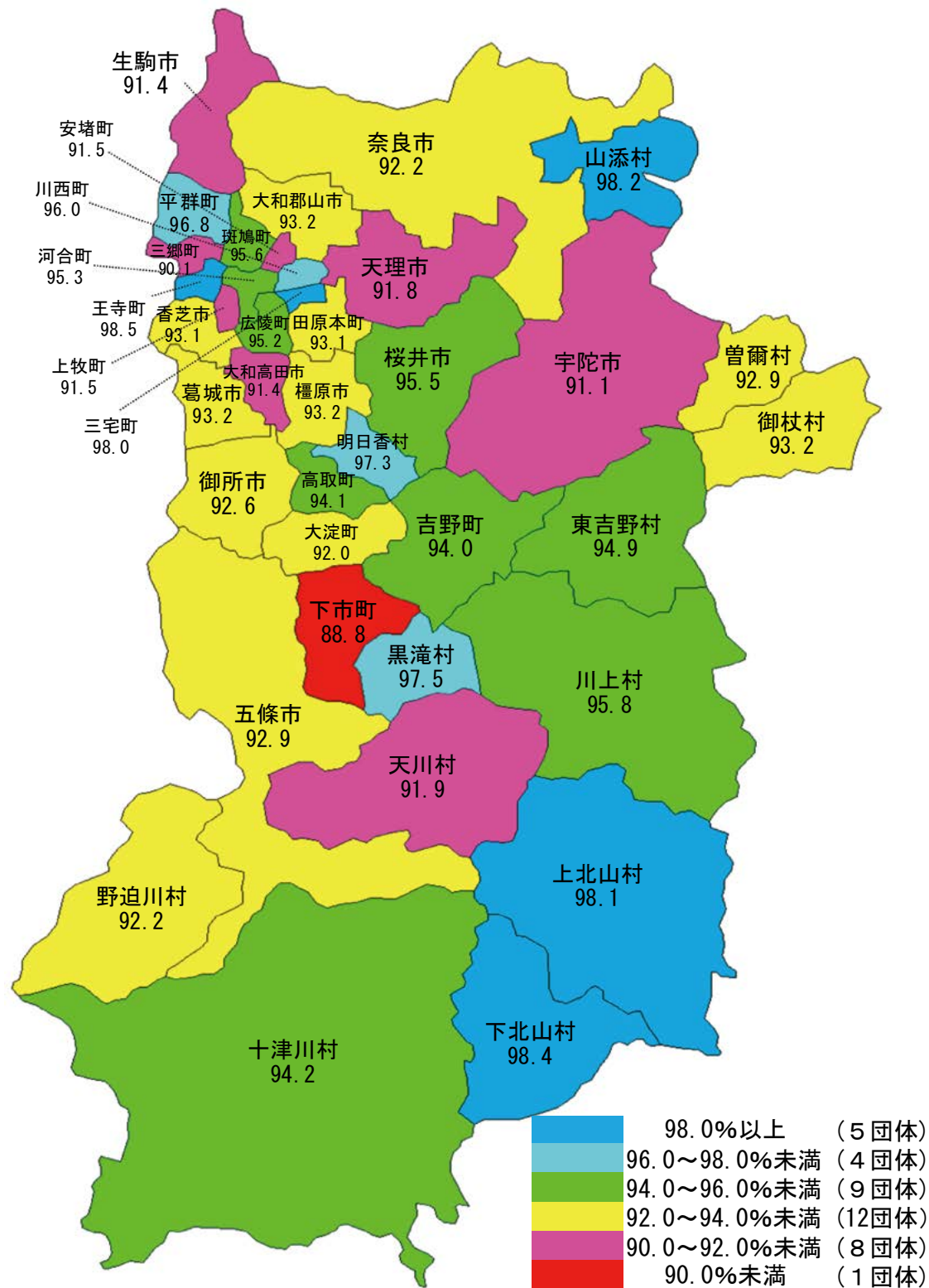
※○内の数字は、県内順位



平成24年度県内市町村の税徴収率の状況(地図)

平成24年度県内市町村の税徴収率を地図で表すと以下のとおりとなります。

市部の徴収率は改善がみられるものの依然低迷しています。



5. 財政状況が悪い市町村はどうなるの？

北海道夕張市の破綻を契機として、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が創設されました。財政指標のうち、「健全化判断比率」について「早期健全化基準」以上となった市町村^{*}は、早期に財政の健全化を図るため、「財政健全化計画」を策定することになります。市町村はこの計画に基づき、収入(歳入)の確保や支出(歳出)の削減を図り、財政の健全化に努めることとなります。

市町村の行政サービスは住民生活に特に密接しており、財政状況が悪くなると、きめ細かな行政サービスができなくなるなど、日常の生活にも影響が出てくる可能性があります。

※平成20年度決算において、御所市と上牧町が財政健全化団体となりました。上牧町は計画に基づいた行財政改革の取組みの結果、平成22年度決算で財政健全化団体から脱却しました。また、御所市も同様の取組みの結果、平成23年度決算で財政健全化団体から脱却しました。

お住まいの市町村がこのような状況にならないようにするには、**市町村の財政状況に関心をもつことが大切です。**

市町村が公開している財政情報についてぜひ関心をもって見てください。

各市町村は、皆さんに分かりやすく情報を開示することを目的として「財政状況資料集」等を作成し、ホームページで公表しています。同様に県でも県内市町村の財政状況について比較・分析を加えて公表し、またこのパンフレットについてもホームページに掲載しています。



あなたのまちの財政状況（平成24年度決算）

平成26年3月 奈良県地域振興部市町村振興課 発行

〒630-8501 奈良市登大路町30

電話:0742-27-8421 / FAX:0742-23-8439

奈良県市町村財政

検索

<http://www.pref.nara.jp/2013.htm>



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用